

# 目次

## 調査結果

<b>1. 調査の概要</b> .....	<b>3</b>
1.1 調査の目的 .....	3
1.2 調査の設計 .....	3
1.3 調査の方法 .....	3
1.4 回収状況 .....	3
1.5 調査の実施時期 .....	3
1.6 報告書を読むにあたって .....	3
<b>2. 調査結果の詳細</b> .....	<b>4</b>
2.1 回答者の属性 .....	4
2.1.1 性別（問1） .....	4
2.1.2 年齢（問2） .....	4
2.1.3 就業状況（問3） .....	4
2.1.4 通勤・通学先（問4） .....	5
2.1.5 通勤・通学時間（問5） .....	5
2.1.6 休日形態（問6） .....	5
2.1.7 現在の健康状態（問7） .....	6
2.1.8 居住地区（問8） .....	6
2.1.9 自治会活動への参加（問9） .....	6
2.1.10 平日と休日における自由時間（問10・問11） .....	7
2.1.11 休日の過ごし方（問12） .....	8
2.1.12 運動不足感（問13） .....	9
2.2 運動やスポーツ活動について .....	10
2.2.1 運動やスポーツの好き・嫌い（問14） .....	10
2.2.2 年間スポーツ頻度（問15） .....	11
2.2.3 過去のスポーツ経験（問16） .....	12
2.2.4 スポーツをしなくなった理由（問17） .....	12
2.2.5 スポーツの再開意向（問18） .....	13
2.2.6 この1年間に行ったスポーツ・今後やってみたいスポーツ（問19） .....	14
2.2.7 スポーツをする理由（問20） .....	16
2.2.8 スポーツをする相手（問21） .....	17
2.2.9 スポーツをする曜日（問22） .....	17
2.2.10 スポーツをする時間帯（問23） .....	18
2.2.11 スポーツをする場所（問24） .....	19

2.2.12	学校時代の運動クラブ加入の有無（問 25）	20
2.2.13	現在の運動クラブ加入の有無（問 26）	20
2.2.14	加入しているクラブ（問 27）	21
2.2.15	クラブ加入の理由（問 28）	22

## 2.3 市の運動・スポーツ環境について..... 23

2.3.1	市営スポーツ施設利用の有無（問 29）	23
2.3.2	利用したことがある市営スポーツ施設（問 30）	24
2.3.3	市営スポーツ施設を利用しない理由（問 31）	26
2.3.4	市内のスポーツ環境の満足度（問 32）	27
2.3.5	設置して欲しいスポーツ施設（問 33）	28
2.3.6	市主催の運動・スポーツ大会や教室の認知度（問 34）	30
2.3.7	市主催の運動・スポーツ大会や教室の参加経験（付問 34-1）	31
2.3.8	参加した市主催の運動・スポーツ大会や教室（付問 34-2）	32
2.3.9	市主催の運動・スポーツ大会や教室への参加意向（付問 34-3）	33
2.3.10	地域主催の運動・スポーツ大会の認知度（問 35）	34
2.3.11	地域主催の運動・スポーツ大会への参加経験（付問 35-1）	35
2.3.12	参加した地域主催の運動・スポーツ大会（付問 35-2）	36
2.3.13	地域主催の運動・スポーツ大会への参加意向（付問 35-3）	37
2.3.14	スポーツ推進委員の認知度（問 37）	38
2.3.15	総合型地域スポーツクラブへの参加意向（問 38）	39
2.3.16	重要と思う市民スポーツ振興施策（問 39）	41

## 2.4 第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会開催 の認知度（問 41）..... 43

## 3. 調査結果からみた今後の課題..... 44

### 資料編

調査票	47
自由回答	59
集計表	77

# 1. 調査の概要

## 1.1 調査の目的

この調査は、市民のスポーツ参加の実態や市民のスポーツライフの方向性を把握し、新しい時代にふさわしい生涯スポーツ振興施策づくりへ反映することを目的としています。

## 1.2 調査の設計

調査の対象：青梅市に居住する 20 歳以上 80 歳以下の男女

標本数：2,000

抽出方法：住民基本台帳による層化二段階無作為抽出

## 1.3 調査の方法

郵送法による質問紙調査

## 1.4 回収状況

有効回収数：787

有効回収率：39.4%

## 1.5 調査の実施時期

平成 24 年 6 月

## 1.6 報告書を読むにあたって

調査結果の%表記については、小数第 2 位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも 100%になるとは限りません。

複数回答の質問は、回答数を 100%として各選択肢の%を算出しているため、合計は 100%を超えています。

図表中の n は回答数を示しています。

数表中のマークは以下のとおりです。

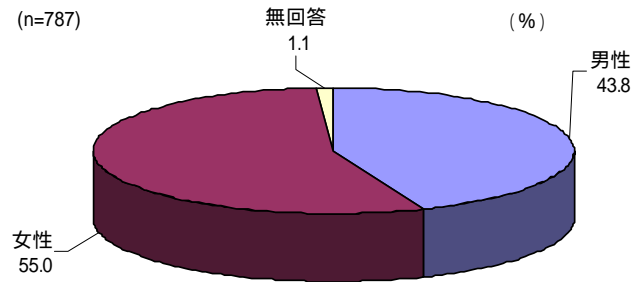
- ： 全体より 20%以上高い
- ： 全体より 10%以上 20%未満高い
- ： 全体より 10%以上 20%未満低い
- ： 全体より 20%以上低い

## 2. 調査結果の詳細

### 2.1 回答者の属性

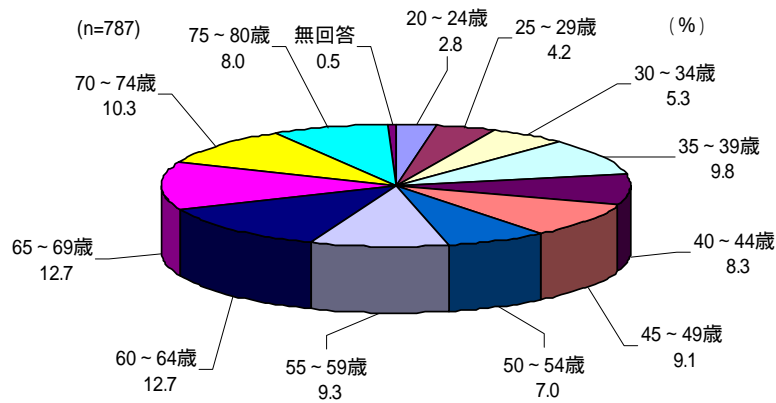
#### 2.1.1 性別 (問1)

回答者の性別は、男性 43.8%、女性は 55.0%とやや女性が多くなっています。



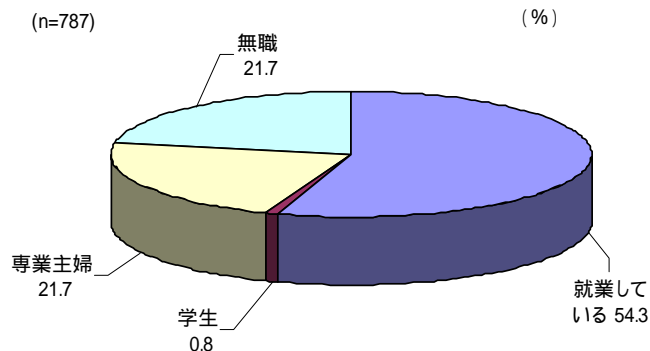
#### 2.1.2 年齢 (問2)

回答者の年齢は、20代 7.0%、30代 15.1%、40代 17.4%、50代 16.3%、60代 25.4%、70代以上 18.3%となっており、60代以上の占める割合が多くなっています。



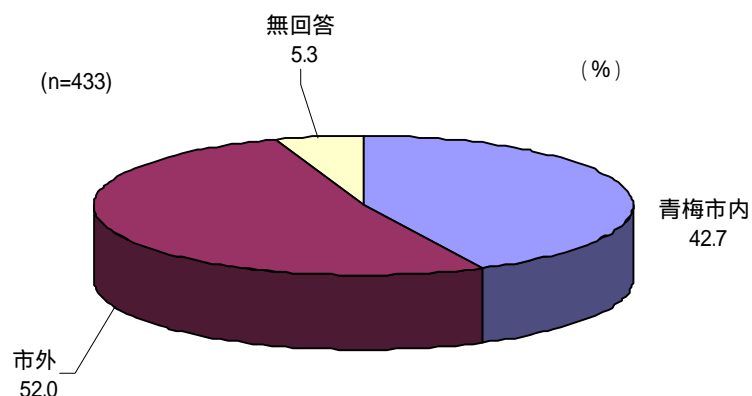
#### 2.1.3 就業状況 (問3)

回答者のうち、就業している人は 54.3%と半数強でした。専業主婦は 21.7%、無職は 21.7%となっています。



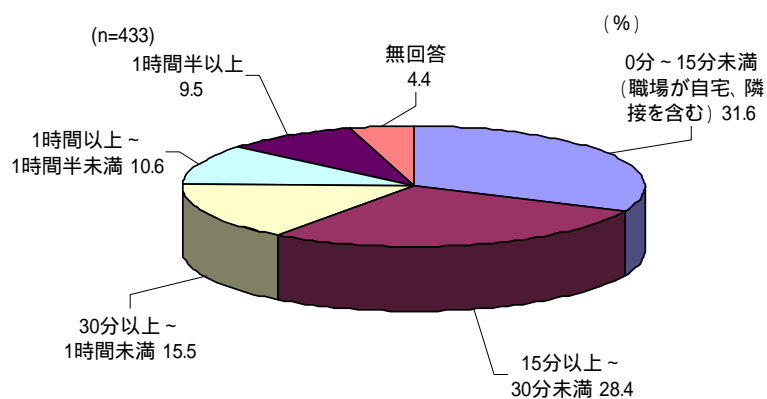
#### 2.1.4 通勤・通学先（問4）

「就業者」および「学生」と回答した人 433 人の通勤・通学先は、「青梅市内」が 42.7%、「市外」は 52.0%でした。



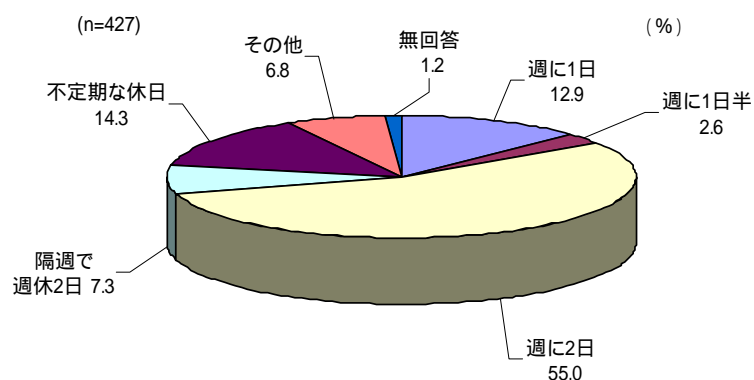
#### 2.1.5 通勤・通学時間（問5）

「就業者」および「学生」と回答した人 433 人の通勤・通学時間をみると、「30分未満」が 60%を占めています。また、「1時間以上」の遠距離通勤・通学者は 20.1%となっています。



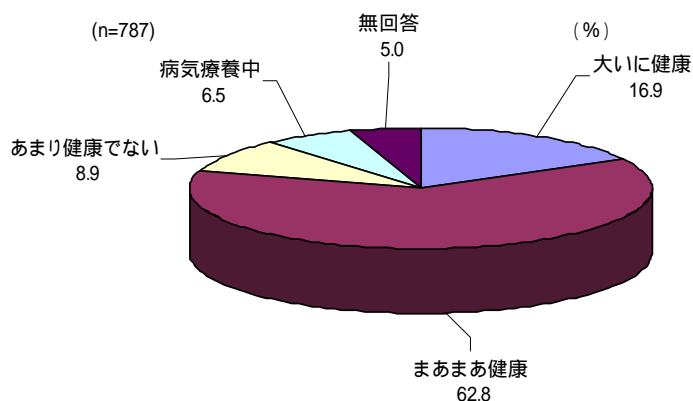
#### 2.1.6 休日形態（問6）

「就業している」427人の休日形態は、「週に2日」が 55.0%と半数を超えています。



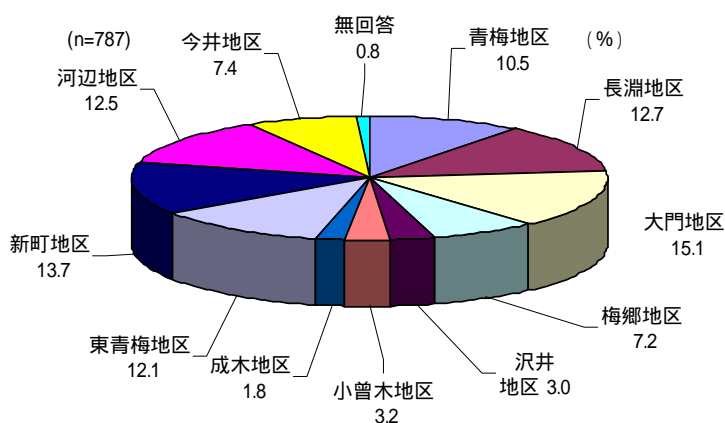
### 2.1.7 現在の健康状態 (問7)

現在の健康状態については、「大いに健康」が16.9%、「まあまあ健康」が62.8%となっており、この両者を合わせると、「健康」としている人は79.7%と多数を占めています。「あまり健康ではない」は8.9%、「病気療養中」は6.5%となっています。



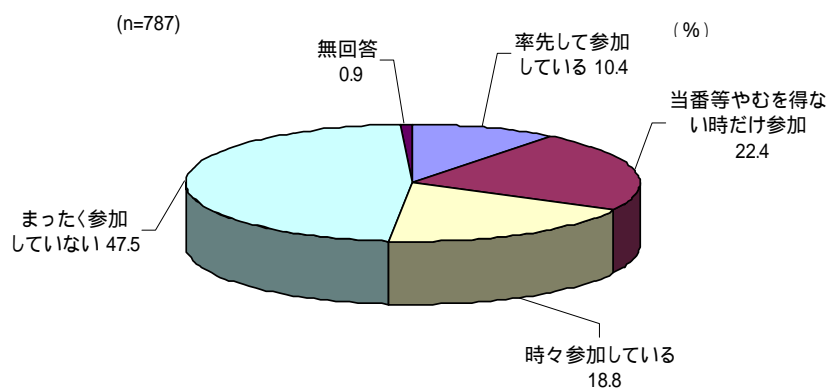
### 2.1.8 居住地区 (問8)

居住地区の割合をみると、「沢井地区」、「小曾木地区」、「成木地区」の3地区3%前後と少なくなっています。



### 2.1.9 自治会活動への参加 (問9)

自治会活動への参加状況をみると、「まったく参加していない」が47.5%と半数近くを占めています。参加者の状況については、「当番等やむを得ない時だけ参加」が22.4%、「ときどき参加」が18.8%と多く、「率先して参加している」は10.4%にとどまっています。



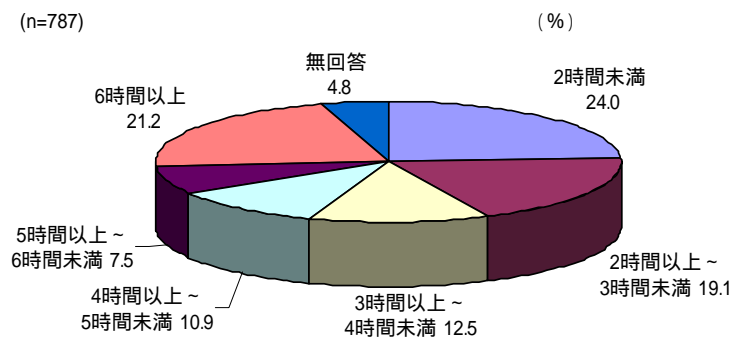
前回調査と比較すると、「時々参加している」との回答が減り、「まったく参加していない」との回答が増えています。

	率先して参加している	当番等やむを得ない時だけ参加	時々参加している	まったく参加していない	無回答
今回	10.4	22.4	18.8	47.5	0.9
前回	9.0	22.2	26.1	41.7	1.0

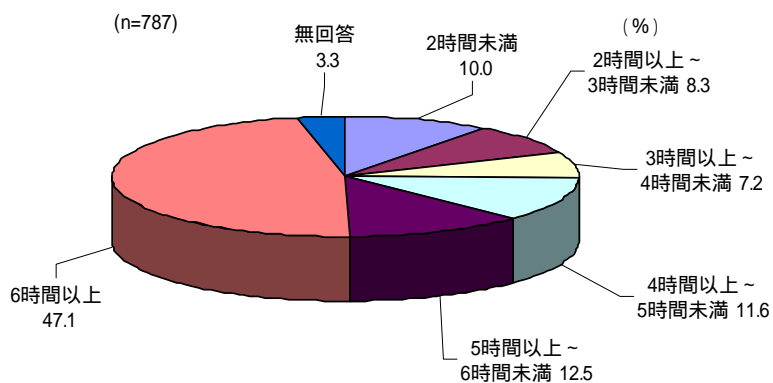
### 2.1.10 平日と休日における自由時間（問10・問11）

平日の自由時間は、「2時間未満」「2時間以上～3時間未満」「6時間以上」が2割前後とやや多くなっていますが、全体的には分散傾向にあるといえます。  
 休日の自由時間については、「6時間以上」が47.1%と半数近くと多くなっています。

【平日の自由時間】



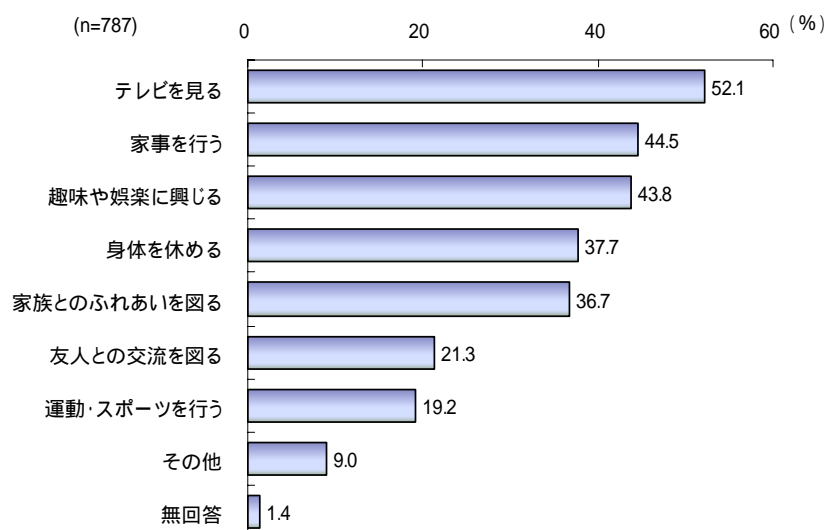
【休日の自由時間】



### 2.1.11 休日の過ごし方（問12）

休日の過ごし方の第1位は「テレビを見る」(52.1%)で、以下、「家事を行う」(44.5%)、「趣味や娯楽に興じる」(43.8%)が40%台で続いています。「運動・スポーツを行う」として

いる人は19.2%と約5人に1人の割合となっています。性年齢別にみると、「運動・スポーツを行う」は男性40歳以上では3割と多くなっていますが、女性20～39歳は6.5%と少なく、「家事を行う」や「家族とのふれあいを図る」とする人が多くなっています。

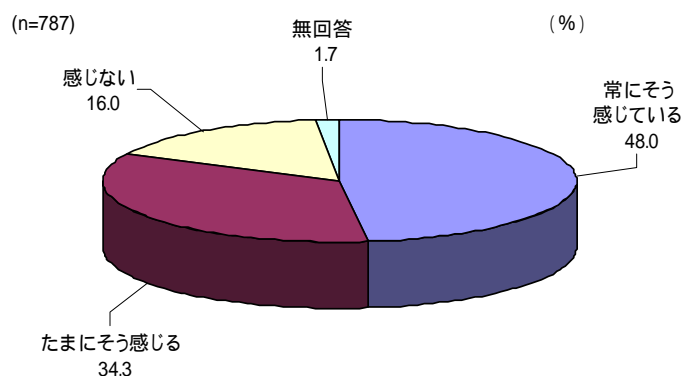


	合計	テレビを見る	趣味や娯楽に興じる	運動・スポーツを行う	身体を休める	家族とのふれあいを図る	友人との交流を図る	家事を行う	その他	無回答
<b>【全体】</b>	787	52.1	43.8	19.2	37.7	36.7	21.3	44.5	9.0	1.4
<b>【性年齢】</b>										
男性 20～39歳	66	45.5	69.7	24.2	50.0	37.9	25.8	12.1	3.0	0.0
男性 40～64歳	170	61.2	50.6	30.0	44.7	32.9	11.2	31.2	5.9	0.0
男性 65～80歳	108	59.3	51.9	30.6	33.3	14.8	16.7	27.8	13.0	0.9
女性 20～39歳	108	32.4	32.4	6.5	41.7	61.1	27.8	62.0	10.2	0.0
女性 40～64歳	192	49.5	32.3	12.0	37.5	46.4	21.4	69.8	7.8	0.5
女性 65～80歳	133	60.2	42.9	15.8	24.1	25.6	31.6	40.6	13.5	4.5



### 2.1.12 運動不足感 (問 13)

日ごろの運動不足感については、「常にそう感じている」が 48.0%と半数近くを占め、「たまにそう感じる」が 34.3%あり、この両者を合わせると、82.3%と多くの人が日ごろの運動不足を「感じる」としています。「感じない」との回答は 16.0%と少数派にとどまっています。性年齢別にみると、女性 20～64 歳では「常にそう感じている」は 60%強と過半数を上回っています。



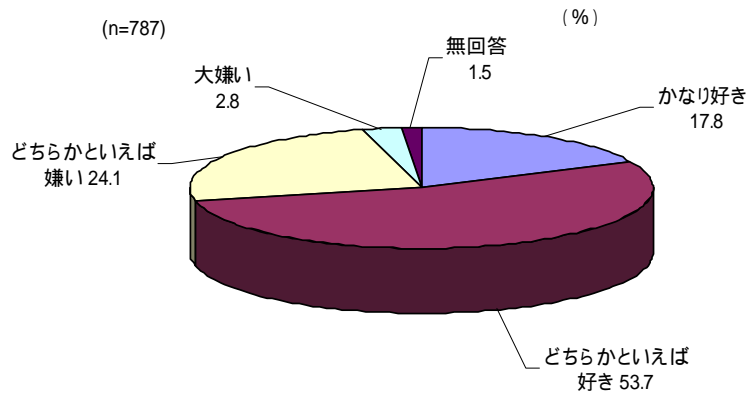
	合計	常にそう感じている	たまにそう感じる	感じない	無回答
<b>【全体】</b>	787	48.0	34.3	16.0	1.7
<b>【性年齢】</b>					
男性 20～39歳	66	34.8	42.4	22.7	0.0
男性 40～64歳	170	49.4	36.5	12.9	1.2
男性 65～80歳	108	38.0	29.6	28.7	3.7
女性 20～39歳	108	62.0	31.5	6.5	0.0
女性 40～64歳	192	60.4	31.3	8.3	0.0
女性 65～80歳	133	33.1	36.8	25.6	4.5

## 2.2 運動やスポーツ活動について

### 2.2.1 運動やスポーツの好き・嫌い (問 14)

運動やスポーツを「かなり好き」とする人は 17.8%にとどまっていますが、「どちらかといえば好き」とする人は 53.7%と半数を超え、この両者を合わせると 71.5%が「好き」としています。一方、「どちらかといえば嫌い」「大嫌い」をあわせた「嫌い」との回答も 26.9%と 4 人に 1 人強の割合で見られます。

属性別にみると、男性 20～39 歳や「大いに健康」としている人は、「かなり好き」が 30%を超えています。



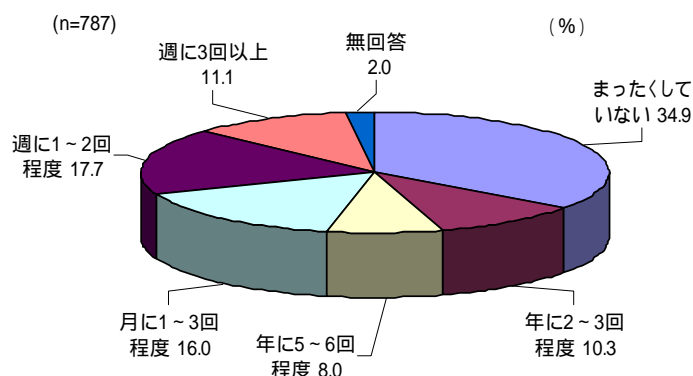
	合計	かなり好き	どちらかとい えば好き	どちらかとい えば嫌い	大嫌い	無回答
<b>【全体】</b>	787	17.8	53.7	24.1	2.8	1.5
<b>【性年齢】</b>						
男性 20～39歳	66	34.8	50.0	12.1	3.0	0.0
男性 40～64歳	170	18.8	56.5	21.2	2.9	0.6
男性 65～80歳	108	18.5	60.2	17.6	1.9	1.9
女性 20～39歳	108	13.9	51.9	29.6	4.6	0.0
女性 40～64歳	192	13.0	51.0	31.3	3.6	1.0
女性 65～80歳	133	18.0	53.4	24.8	0.0	3.8
<b>【健康状態】</b>						
大いに健康	133	33.8	42.9	18.8	3.0	1.5
まあまあ健康	494	15.6	58.1	22.7	2.6	1.0
健康でない・病気療養中	121	10.7	51.2	32.2	4.1	1.7

## 2.2.2 年間スポーツ頻度 (問 15)

この1年間に運動・スポーツを「まったくしていない」人は34.9%あり、「年に2～3回程度」(10.3%)、「年に5～6回程度」(8.0%)を合わせると、半数強の人は運動・スポーツがあまりできていないといえます。「週に3回以上」、「週に1～2回以上」を合わせた高頻度の運動・スポーツ実行者は28.8%にとどまっています。

性年齢別にみると、男性20～39歳は「まったくしていない」とする人は、16.7%と少なくなっています。

健康状態別にみると、「大いに健康」としている人は、「週1回以上」の割合が4割と多くなっています。



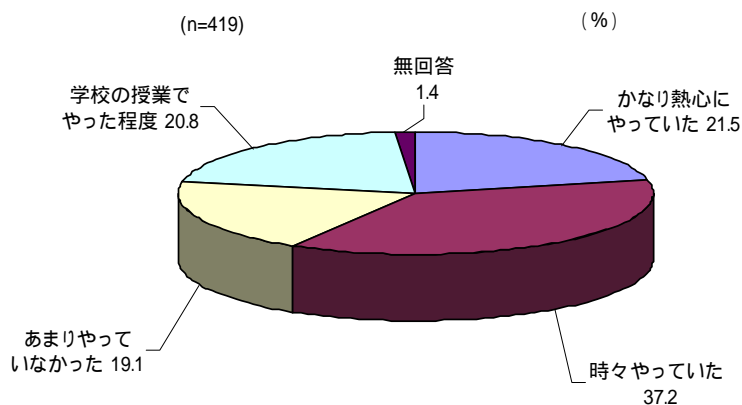
	合計	まったくしていない	年に2～3回程度	年に5～6回程度	月に1～3回程度	週に1～2回程度	週に3回以上	無回答
<b>[全体]</b>	787	34.9	10.3	8.0	16.0	17.7	11.1	2.0
<b>[性年齢]</b>								
男性 20～39歳	66	16.7	13.6	15.2	27.3	22.7	4.5	0.0
男性 40～64歳	170	37.6	11.2	5.3	18.2	17.1	10.0	0.6
男性 65～80歳	108	29.6	11.1	11.1	14.8	11.1	18.5	3.7
女性 20～39歳	108	42.6	13.9	13.0	13.9	14.8	1.9	0.0
女性 40～64歳	192	39.6	10.4	6.8	12.0	21.4	9.9	0.0
女性 65～80歳	133	33.1	3.8	3.8	17.3	17.3	18.0	6.8
<b>[健康状態]</b>								
大いに健康	133	22.6	10.5	10.5	14.3	24.1	16.5	1.5
まあまあ健康	494	34.6	10.3	7.5	17.2	18.2	10.3	1.8
健康でない・病気療養中	121	50.4	9.9	9.1	11.6	7.4	9.1	2.5

前回調査と比較すると、「週に3回以上」との回答がわずかながら増えています。

	まったくしていない	年に2～3回程度	年に5～6回程度	月に1～3回程度	週に1～2回程度	週に3回以上	無回答
今回	34.9	10.3	8.0	16.0	17.7	11.1	2.0
前回	36.4	12.1	9.6	14.2	18.1	8.2	1.4

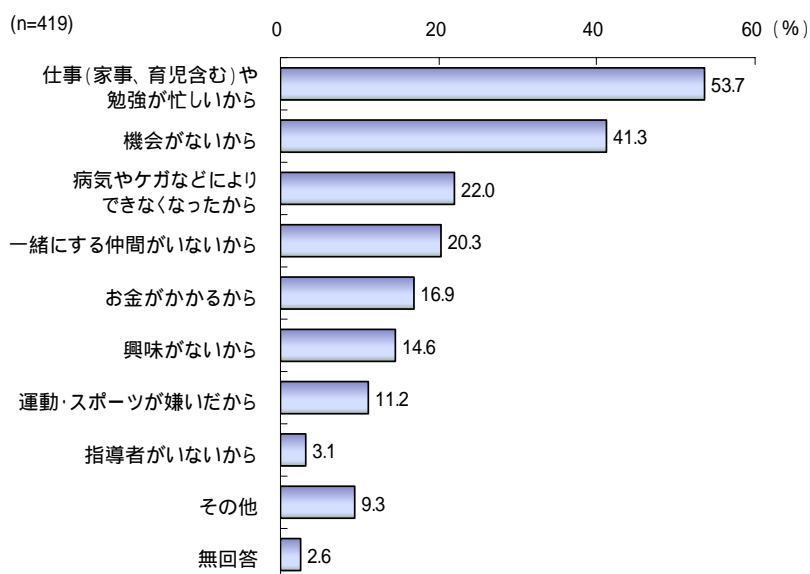
### 2.2.3 過去のスポーツ経験（問16）

この1年間に運動やスポーツを「まったくしていない」、あるいは「年に6回程度以下」の419人の過去のスポーツ経験を聞いたところ、「かなり熱心にやっていた」は21.5%、「時々やっていた」は37.2%で、両者を合わせると6割近くを占めています。



### 2.2.4 スポーツをしなくなった理由（問17）

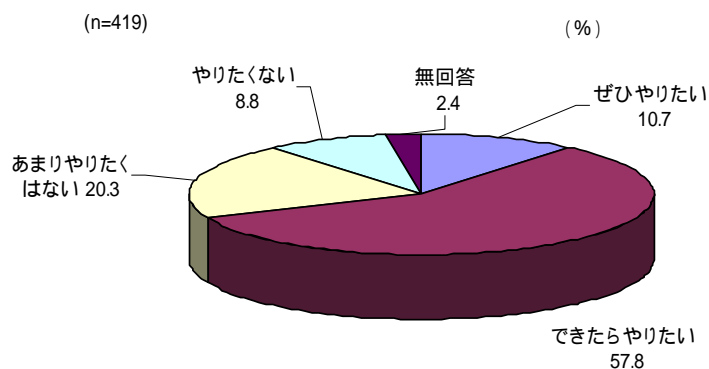
この1年間に運動やスポーツを「まったくしていない」、あるいは「年に6回程度以下」の419人のスポーツをしなくなった理由は、「仕事(家事、育児を含む)や勉強が忙しいから」(53.7%)、「機会がないから」(41.3%)の2つが上位にあげられています。



## 2.2.5 スポーツの再開意向 (問18)

この1年間に運動やスポーツを「まったくしていない」、あるいは「年に6回程度以下」の419人のうち、「ぜひやりたい」(10.7%)、「できたらやりたい」(57.8%)を合わせると68.5%と7割近い人がスポーツ再開意向を示しています。

性年齢別にみると、男女とも年齢が若い人に「ぜひやりたい」との強い意向を示す人が多くなっています。



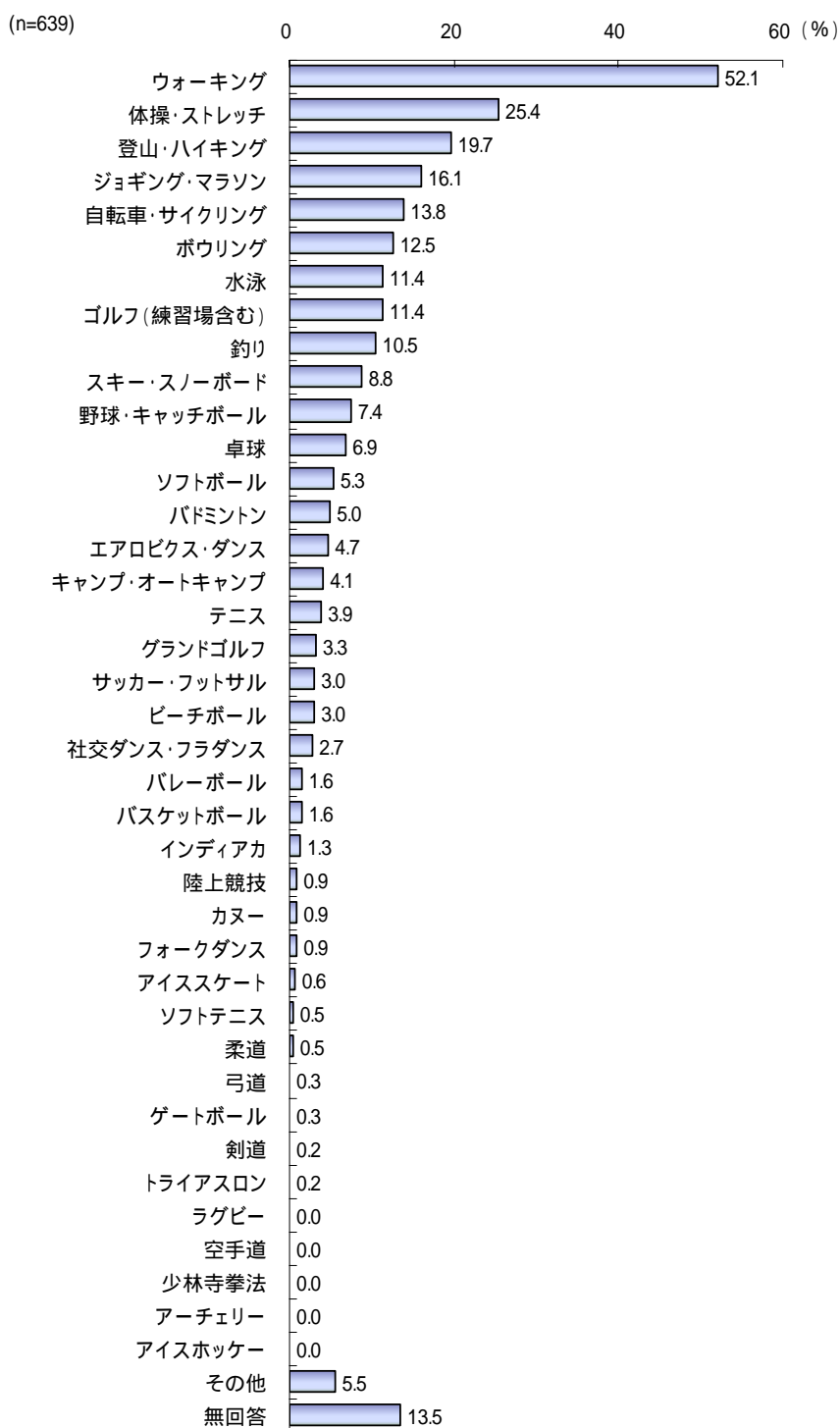
	合計	ぜひやりたい	できたらやりたい	あまりやりたくない	やりたくない	無回答
【問15で1,2,3のいずれかの方】	419	10.7	57.8	20.3	8.8	2.4
【性年齢】						
男性 20～39歳	30	20.0	60.0	13.3	6.7	0.0
男性 40～64歳	92	9.8	58.7	22.8	8.7	0.0
男性 65～80歳	56	5.4	53.6	26.8	10.7	3.6
女性 20～39歳	75	16.0	62.7	16.0	5.3	0.0
女性 40～64歳	109	11.9	64.2	17.4	5.5	0.9
女性 65～80歳	54	3.7	37.0	25.9	20.4	13.0

## 2.2.6 この1年間に行ったスポーツ・今後やってみたいスポーツ（問19）

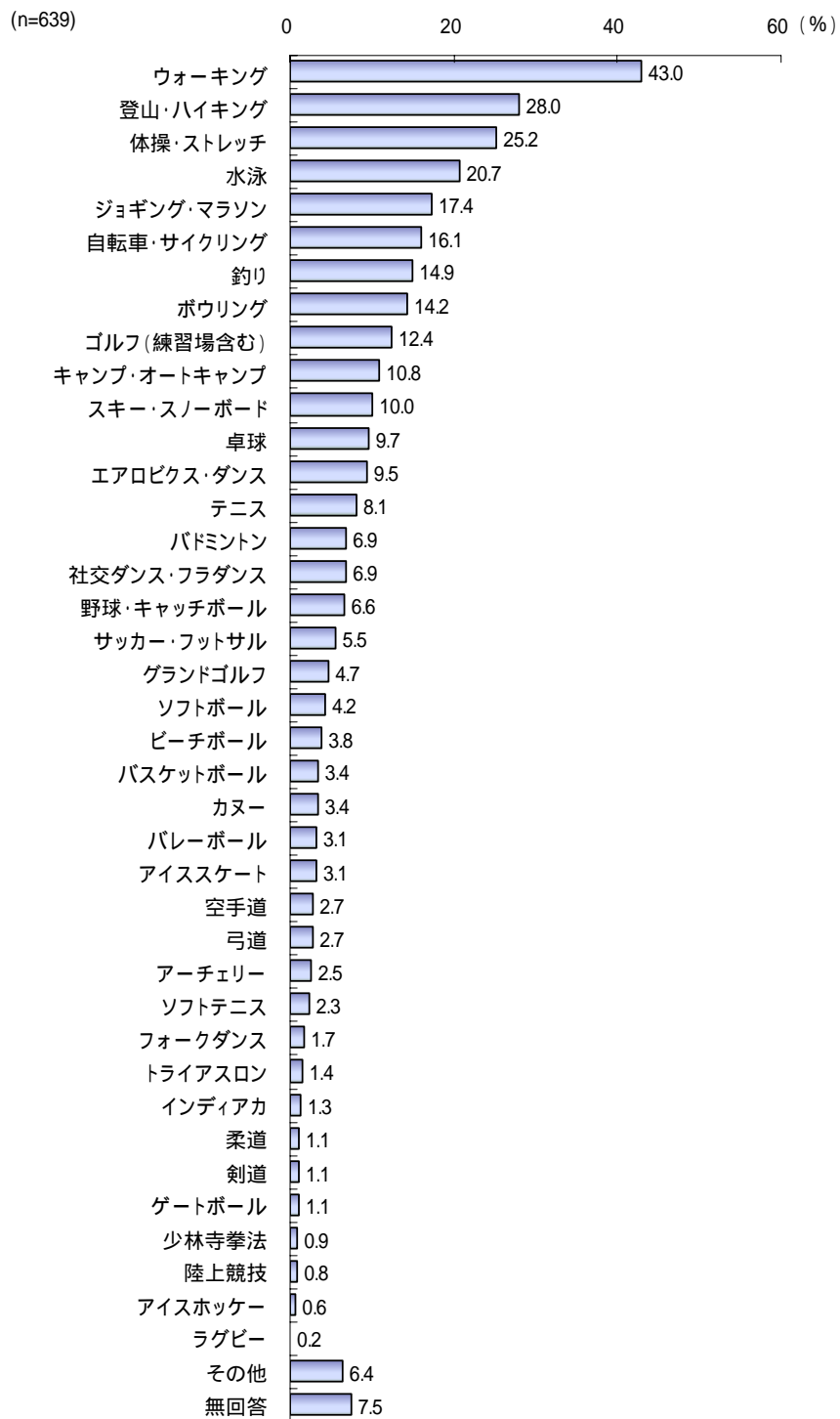
この1年間に行ったスポーツは、「ウォーキング」(52.1%)が半数強と最も多く、以下、「体操・ストレッチ」(25.4%)、「登山・ハイキング」(19.7%)、「ジョギング・マラソン」(16.1%)、「自転車・サイクリング」(13.8%)、「ボウリング」(12.5%)が続いています。

今後やってみたいスポーツについても、「ウォーキング」(43.0%)をあげる人が最も多く、以下、「登山・ハイキング」(28.0%)、「体操・ストレッチ」(25.2%)、「水泳」(20.7%)が20%台で続いています。

【この1年間に行ったスポーツ】

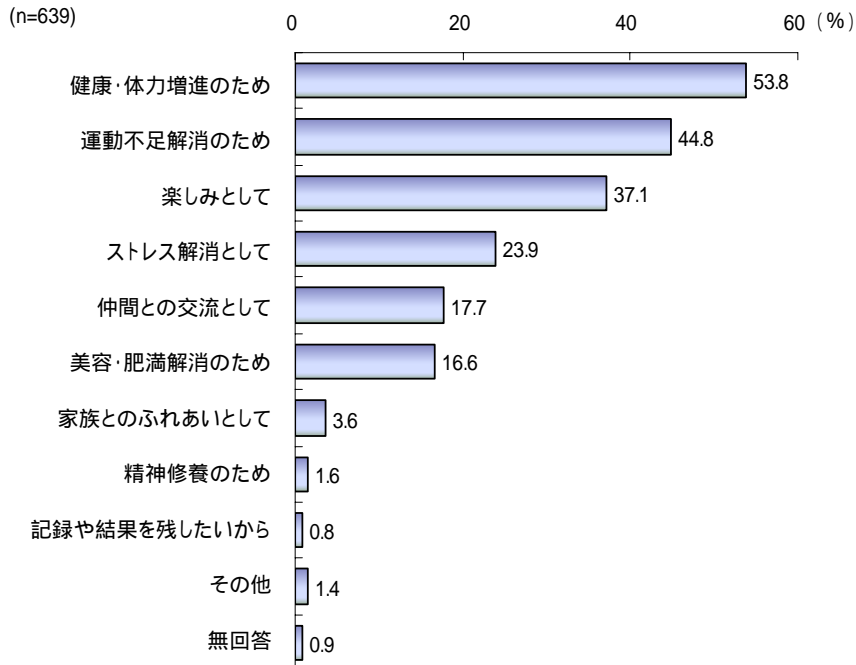


### 【今後やってみたいスポーツ】



## 2.2.7 スポーツをする理由（問20）

運動やスポーツを行う理由としては、「健康・体力増進のため」（53.8%）が最も多く、ついで「運動不足解消のため」（44.8%）、「楽しみとして」（37.1%）が続いています。男女別にみると、女性は男性より「ストレス解消として」や「美容・肥満解消のため」を理由とする人がやや多くみられます。



	合計	楽しみとして	精神修養のため	ストレス解消として	家族とのふれあいとして	健康・体力増進のため	仲間との交流として	運動不足解消のため	記録や結果を残したいから	美容・肥満解消のため	その他	無回答
【問15で1,2,3かつ問18で1,2の方、または問15で4,5,6の方】	639	37.1	1.6	23.9	3.6	53.8	17.7	44.8	0.8	16.6	1.4	0.9
【性別】												
男性	282	42.9	2.8	19.5	3.9	53.9	15.2	45.0	1.8	7.8	2.1	0.4
女性	350	32.3	0.6	27.7	3.1	53.7	19.7	44.0	0.0	23.4	0.9	1.4

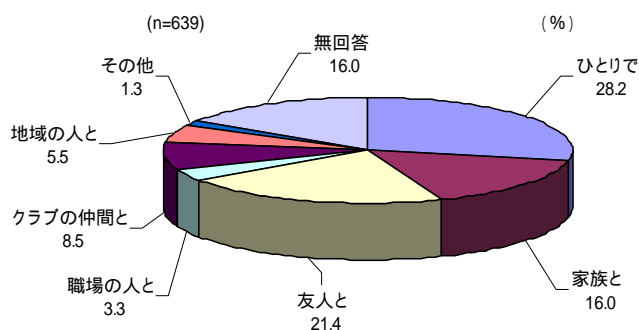
前回調査と比較すると、「健康・体力増進のため」との回答が増えています。

	楽しみとして	精神修養のため	ストレス解消として	家族とのふれあいとして	健康・体力増進のため	仲間との交流として	運動不足解消のため	記録や結果を残したいから	美容・肥満解消のため	その他	無回答
今回	37.1	1.6	23.9	3.6	53.8	17.7	44.8	0.8	16.6	1.4	0.9
前回	39.6	2.2	25.0	4.4	45.0	17.5	45.0	0.6	17.6	1.1	1.5



### 2.2.8 スポーツをする相手（問21）

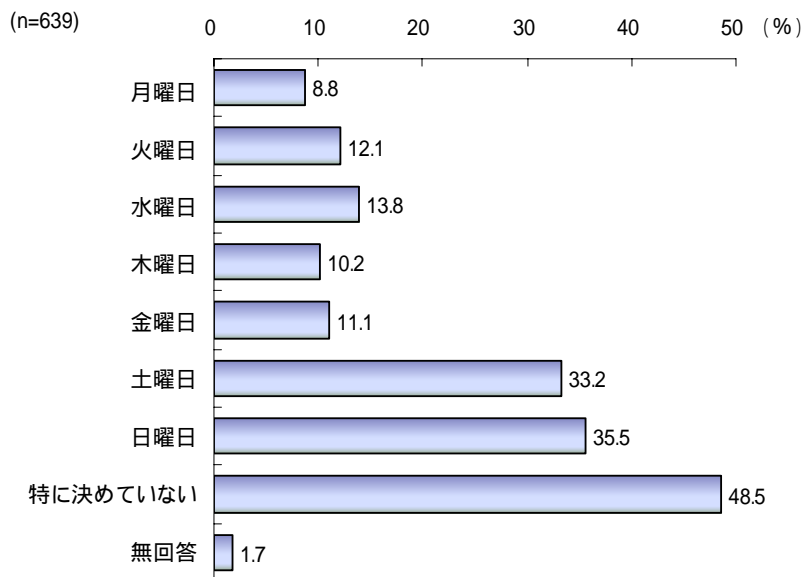
スポーツをする相手は、「ひとりで」(28.2%)と「友人と」(21.4%)がやや多く、ついで、「家族と」(16.0%)が続いています。



### 2.2.9 スポーツをする曜日（問22）

スポーツをする曜日は、「特に決めていない」(48.5%)が半数近くを占め、最も多い回答となっています。基本的には週末(土日)傾向が示されており、平日に行っている人は1割前後となっています。

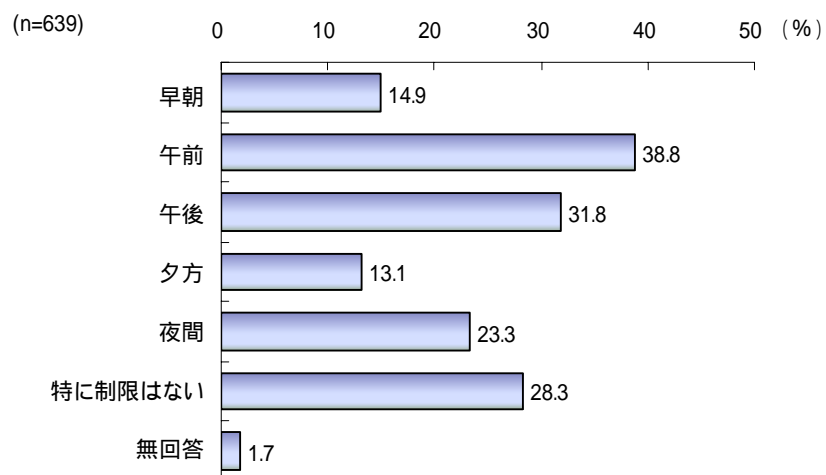
性別にみると、男性は週末が多くなっています。女性は男性に比べると、平日がやや多くなっています。



	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	特に決めていない	無回答
【問15で1,2,3かつ問18で1,2の方、または問15で4,5,6の方】	639	8.8	12.1	13.8	10.2	11.1	33.2	35.5	48.5	1.7
【性別】										
男性	282	7.4	8.2	12.8	7.1	7.4	39.0	47.5	44.3	0.7
女性	350	10.0	14.9	14.6	12.3	13.1	28.6	26.3	52.3	2.6

### 2.2.10 スポーツをする時間帯（問23）

スポーツをする時間帯は「午前」が38.8%で最も多く、以下「午後」(31.8%)「夜間」(23.3%)で続いています。一方、「特に制限はない」と回答した人は28.3%となっています。  
性別にみると、男性は「特に制限はない」をあげる人が多く、女性は「午前」をあげる人が多くなっています。

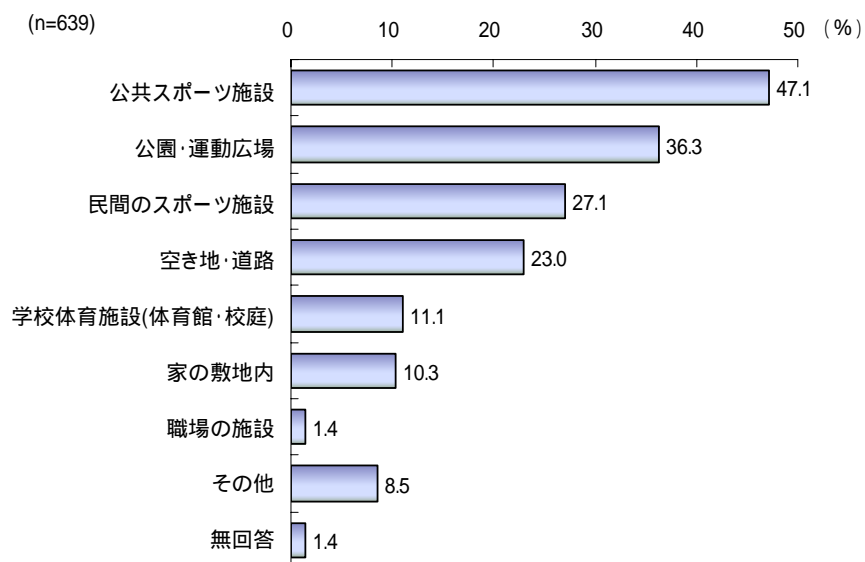


	合計	早朝	午前	午後	夕方	夜間	特に制限はない	無回答
【問15で1,2,3かつ問18で1,2の方、または問15で4,5,6の方】	639	14.9	38.8	31.8	13.1	23.3	28.3	1.7
【性別】								
男性	282	20.6	34.0	23.8	14.9	20.9	36.5	1.1
女性	350	10.3	42.3	37.7	12.0	25.4	22.0	2.3

### 2.2.11 スポーツをする場所（問24）

スポーツをする場所としては、「公共スポーツ施設」が47.1%で最も多く、ついで、「公園・運動広場」(36.3%)、「民間のスポーツ施設」(27.1%)、「空き地・道路」(23.0%)が続いています。

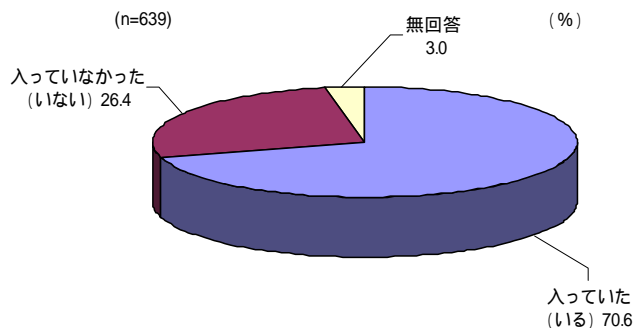
性別にみると、女性は男性に比べると、「公共スポーツ施設」や「民間のスポーツ施設」をあげる人が多くなっています。



	合計	家の敷地内	空き地・道路	公園・運動広場	公共スポーツ施設	学校体育施設(体育館・校庭)	職場の施設	民間のスポーツ施設	その他	無回答
【問15で1,2,3かつ問18で1,2の方、または問15で4,5,6の方】	639	10.3	23.0	36.3	47.1	11.1	1.4	27.1	8.5	1.4
【性別】										
男性	282	8.2	27.3	43.3	41.5	9.9	2.5	21.6	11.0	0.4
女性	350	11.4	19.7	30.9	51.7	12.3	0.6	31.7	6.6	2.3

### 2.2.12 学校時代の運動クラブ加入の有無（問25）

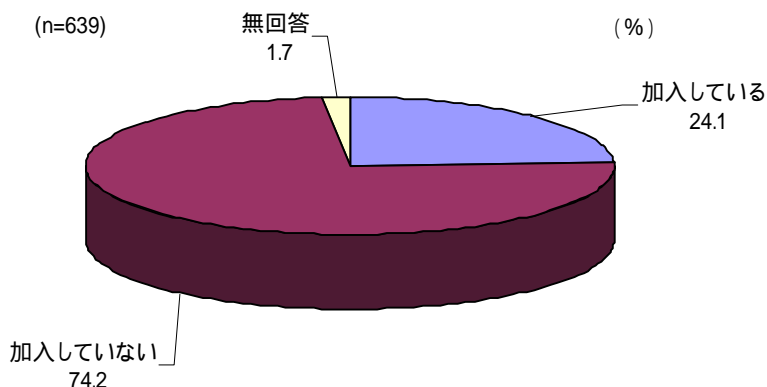
学校時代に運動クラブに加入していた人は、70.6%と多数を占めています。  
 性年齢別にみると、男性20～64歳は8割以上の方が加入していたとしています。一方、女性65歳以上は43.5%と半数を切っています。



	合計	加入していた(いる)	加入していなかった(いない)	無回答
【問15で1,2,3かつ問18で1,2の方、または問15で4,5,6の方】	639	70.6	26.4	3.0
【性年齢】				
男性 20～39歳	60	88.3	11.7	0.0
男性 40～64歳	140	81.4	17.9	0.7
男性 65～80歳	81	66.7	29.6	3.7
女性 20～39歳	92	75.0	23.9	1.1
女性 40～64歳	166	69.9	28.3	1.8
女性 65～80歳	92	43.5	44.6	12.0

### 2.2.13 現在の運動クラブ加入の有無（問26）

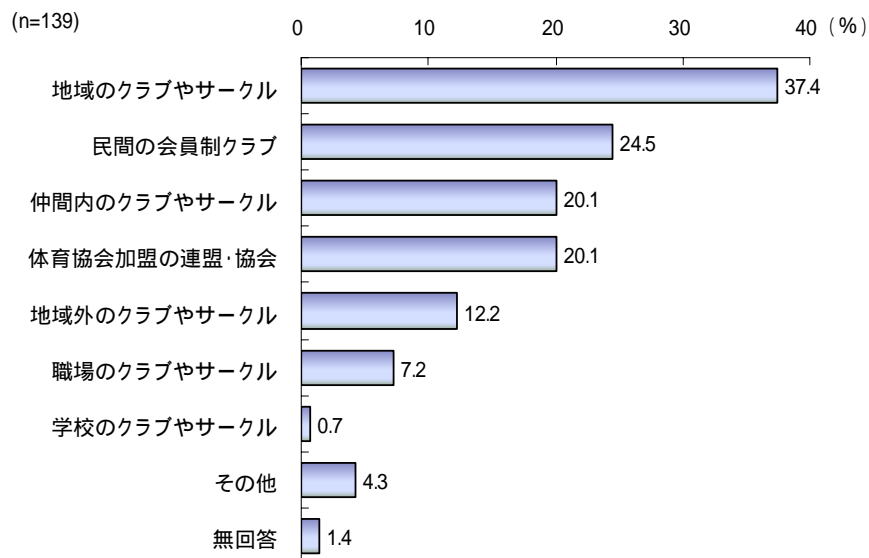
現在運動クラブに加入している人は、24.1%と約4人に1人の割合となっています。  
 性年齢別にみると、男性65歳以上や女性20～39歳は加入している人が、やや少なくなっています。



	合計	加入している	加入していない	無回答
【問15で1,2,3かつ問18で1,2の方、または問15で4,5,6の方】	639	24.1	74.2	1.7
【性年齢】				
男性 20～39歳	60	25.0	75.0	0.0
男性 40～64歳	140	25.0	72.9	2.1
男性 65～80歳	81	19.8	79.0	1.2
女性 20～39歳	92	14.1	84.8	1.1
女性 40～64歳	166	23.5	75.9	0.6
女性 65～80歳	92	35.9	59.8	4.3

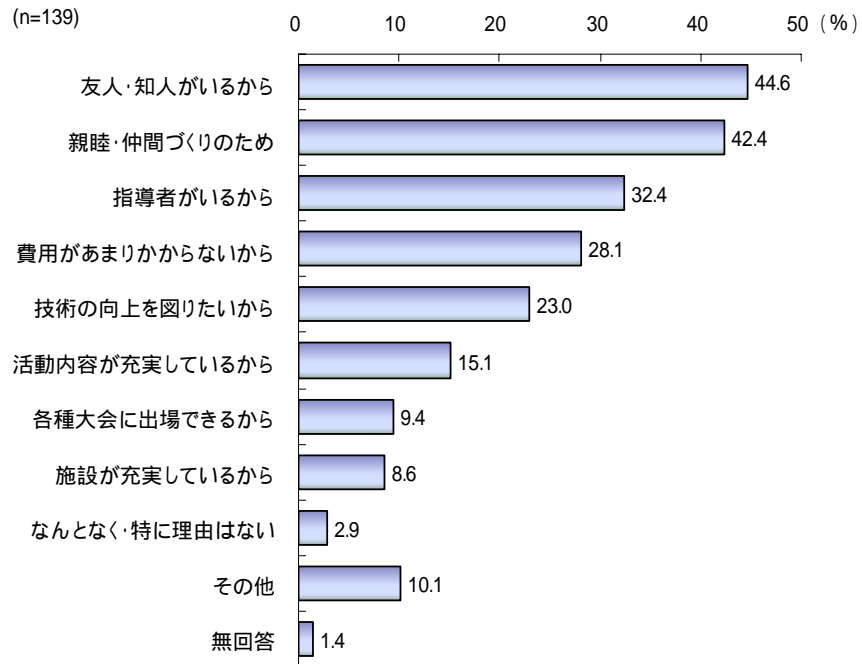
#### 2.2.14 加入しているクラブ（問27）

現在加入しているクラブは、「地域のクラブやサークル」が37.4%で最も多く、ついで「民間の会員制クラブ」(24.5%)、「仲間内のクラブやサークル」(20.1%)、「体育協会加盟の連盟・協会」(20.1%)が続いています。



### 2.2.15 クラブ加入の理由 (問 28)

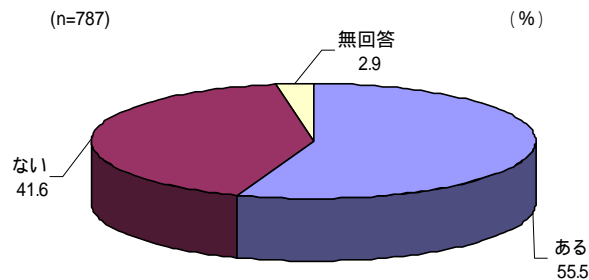
クラブ加入の理由は、「友人・知人がいるから」(44.6%)と「親睦・仲間づくりのため」(42.4%)が40%台で上位にあげられ、以下、「指導者がいるから」(32.4%)、「費用があまりかからないから」(28.1%)が30%前後で続いています。



## 2.3 市の運動・スポーツ環境について

### 2.3.1 市営スポーツ施設利用の有無（問29）

市営スポーツ施設の利用率は、55.5%となっています。  
 性年齢別にみると、男女とも65歳以上の利用率はやや低くなっています。  
 居住地域別にみると、小木曽地区、東青梅地区の利用率が高くなっています。



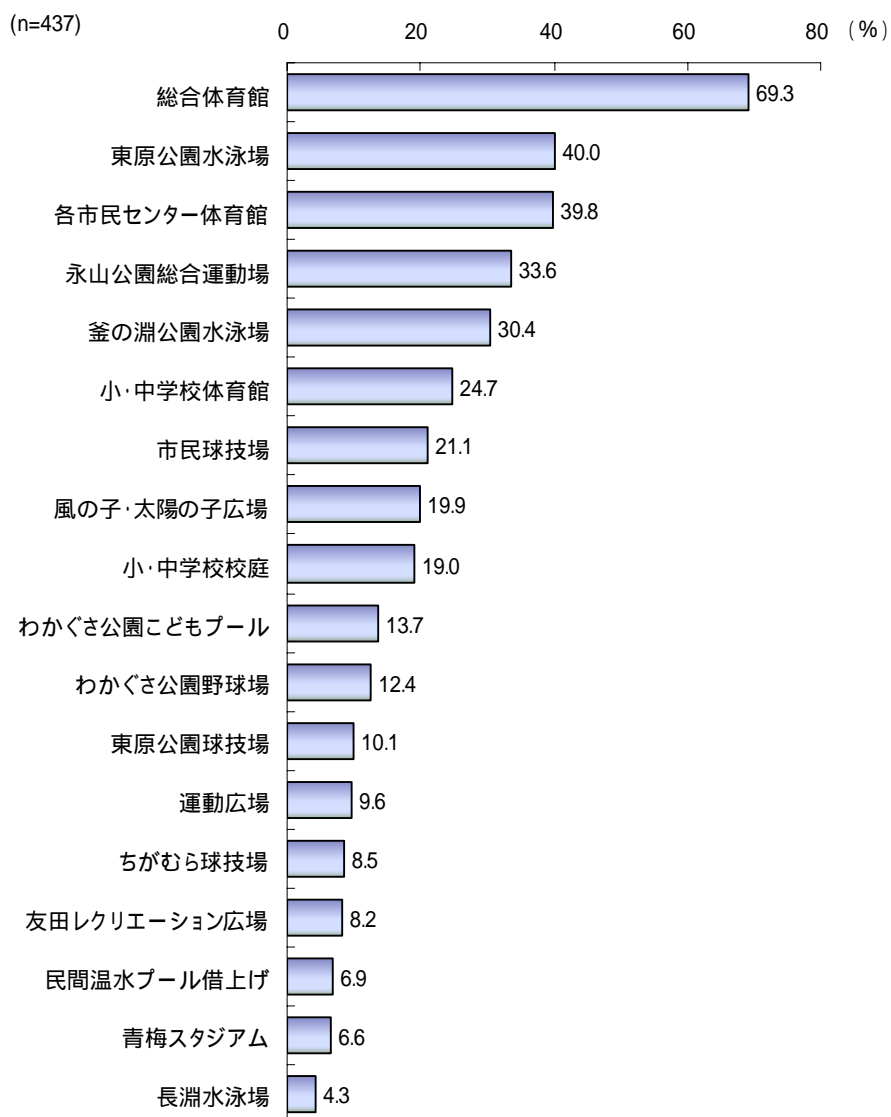
	合計	ある	ない	無回答
<b>[全体]</b>	787	55.5	41.6	2.9
<b>[性年齢]</b>				
男性 20～39歳	66	57.6	42.4	0.0
男性 40～64歳	170	59.4	38.2	2.4
男性 65～80歳	108	40.7	55.6	3.7
女性 20～39歳	108	54.6	44.4	0.9
女性 40～64歳	192	65.1	32.3	2.6
女性 65～80歳	133	49.6	44.4	6.0
<b>[居住地域]</b>				
青梅地区	83	54.2	44.6	1.2
長淵地区	100	53.0	43.0	4.0
大門地区	119	54.6	43.7	1.7
梅郷地区	57	61.4	35.1	3.5
沢井地区	24	37.5	58.3	4.2
小曾木地区	25	68.0	28.0	4.0
成木地区	14	42.9	57.1	0.0
東青梅地区	95	67.4	28.4	4.2
新町地区	108	50.0	47.2	2.8
河辺地区	98	54.1	43.9	2.0
今井地区	58	56.9	41.4	1.7

市営スポーツ施設の利用率は、前回調査と大きな違いはみられません。

	ある	ない	無回答
今回	55.5	41.6	2.9
前回	55.9	43.8	0.3

### 2.3.2 利用したことがある市営スポーツ施設（問30）

利用したことがある市営スポーツ施設の第1位は「総合体育館」(69.3%)となっています。以下、「東原公園水泳場」(40.0%)、「各市民センター体育館」(39.8%)、「永山公園総合運動場」(33.6%)、「釜の淵公園水泳場」(30.4%)が続いています。



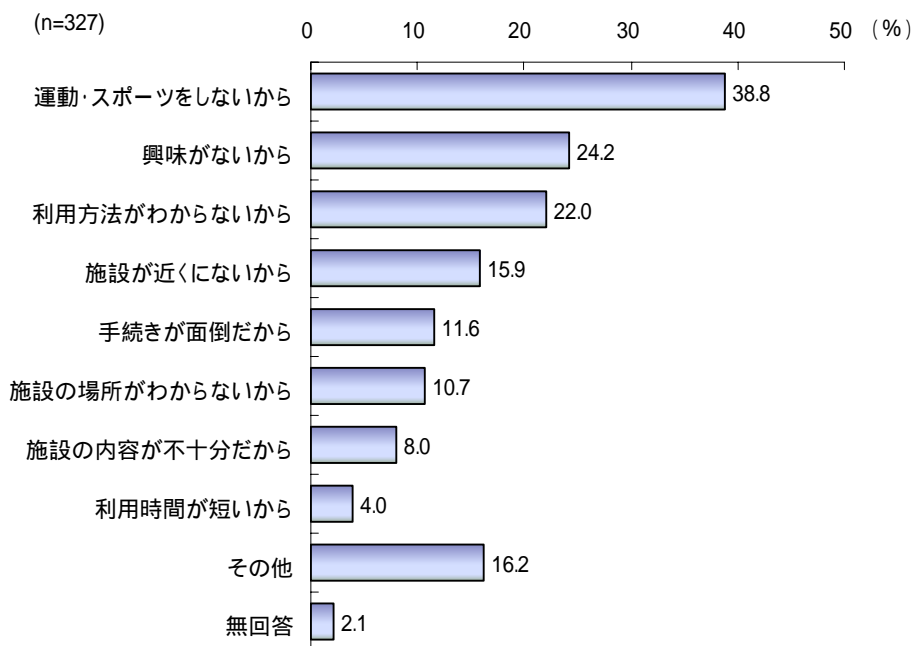


利用したことがある市営スポーツ施設について、前回調査と比較すると、「総合体育館」の利用率が増加しています。

	総合体育館	永山公園総合運動場	市民球技場	わかぐさ公園野球場	ちがむら球技場	東原公園球技場	友田レクリエーション広場	青梅スタジアム	釜の淵公園水泳場	東原公園水泳場
今回	69.3	33.6	21.1	12.4	8.5	10.1	8.2	6.6	30.4	40.0
前回	62.3	29.5	20.1	11.7	5.7	6.1	9.0	6.1	31.4	37.5
	わかぐさ公園こどもプール	長淵水泳場	風の子・太陽の子広場	各市民センター体育館	小・中学校校庭	小・中学校体育館	運動広場	民間温水プール借上げ	無回答	
今回	13.7	4.3	19.9	39.8	19.0	24.7	9.6	6.9	0.0	
前回	10.5	4.1	19.5	37.5	23.2	26.0	7.8	4.7	0.4	

### 2.3.3 市営スポーツ施設を利用しない理由（問31）

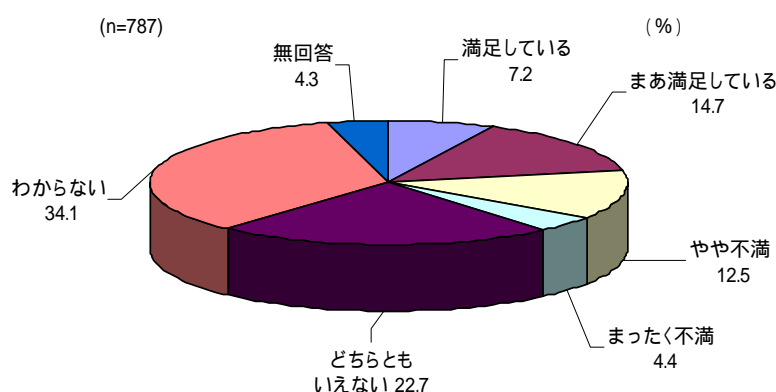
市営スポーツ施設を利用しなかった人の理由をみると、「運動・スポーツをしないから」(38.8%)が最も多く、以下、「興味がないから」(24.2%)、「利用方法がわからないから」(22.0%)が20%台、「施設が近くにないから」(15.9%)、「手続きが面倒だから」(11.6%)、「施設の場所がわからないから」(10.7%)が10%台で続いています。



### 2.3.4 市内のスポーツ環境の満足度（問32）

市内のスポーツ環境に対して「満足している」(7.2%)、「まあ満足している」(14.7%)を合わせた「満足」との評価は21.9%と5人に1人強にとどまります。「やや不満」(12.5%)、「まったく不満」(4.4%)を合わせた「不満」層は16.9%となっており、「満足」とする人がやや多くなっています。これに対し、「どちらともいえない」(22.7%)、「わからない」(34.1%)と評価を保留する人が56.8%と過半数を超えており、評価するための評価基準が明確でないことをうかがわせています。

性年齢別にみると、男性20～39歳で「満足」とする人が3割弱とやや多くなっています。居住地域別には顕著な差はみられませんでした。



	合計	満足している	まあ満足している	やや不満	まったく不満	どちらともいえない	わからない	無回答
<b>【全体】</b>	787	7.2	14.7	12.5	4.4	22.7	34.1	4.3
<b>【性年齢】</b>								
男性 20～39歳	66	12.1	15.2	7.6	6.1	27.3	30.3	1.5
男性 40～64歳	170	6.5	14.7	14.1	5.9	27.1	27.6	4.1
男性 65～80歳	108	7.4	17.6	11.1	3.7	18.5	38.0	3.7
女性 20～39歳	108	5.6	11.1	14.8	6.5	22.2	38.0	1.9
女性 40～64歳	192	6.3	15.6	15.1	3.1	23.4	33.3	3.1
女性 65～80歳	133	8.3	13.5	9.0	3.0	18.8	38.3	9.0
<b>【居住地域】</b>								
青梅地区	83	6.0	15.7	12.0	4.8	18.1	38.6	4.8
長淵地区	100	10.0	13.0	9.0	2.0	35.0	26.0	5.0
大門地区	119	7.6	10.9	12.6	7.6	27.7	31.9	1.7
梅郷地区	57	8.8	14.0	10.5	3.5	17.5	36.8	8.8
沢井地区	24	8.3	8.3	16.7	8.3	20.8	33.3	4.2
小曾木地区	25	4.0	24.0	8.0	0.0	16.0	44.0	4.0
成木地区	14	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	57.1	0.0
東青梅地区	95	8.4	20.0	13.7	5.3	21.1	26.3	5.3
新町地区	108	7.4	10.2	16.7	3.7	23.1	36.1	2.8
河辺地区	98	5.1	16.3	14.3	5.1	20.4	34.7	4.1
今井地区	58	6.9	17.2	8.6	3.4	19.0	41.4	3.4

市内のスポーツ環境の満足度については、前回調査より「不満」層がやや減少しています。

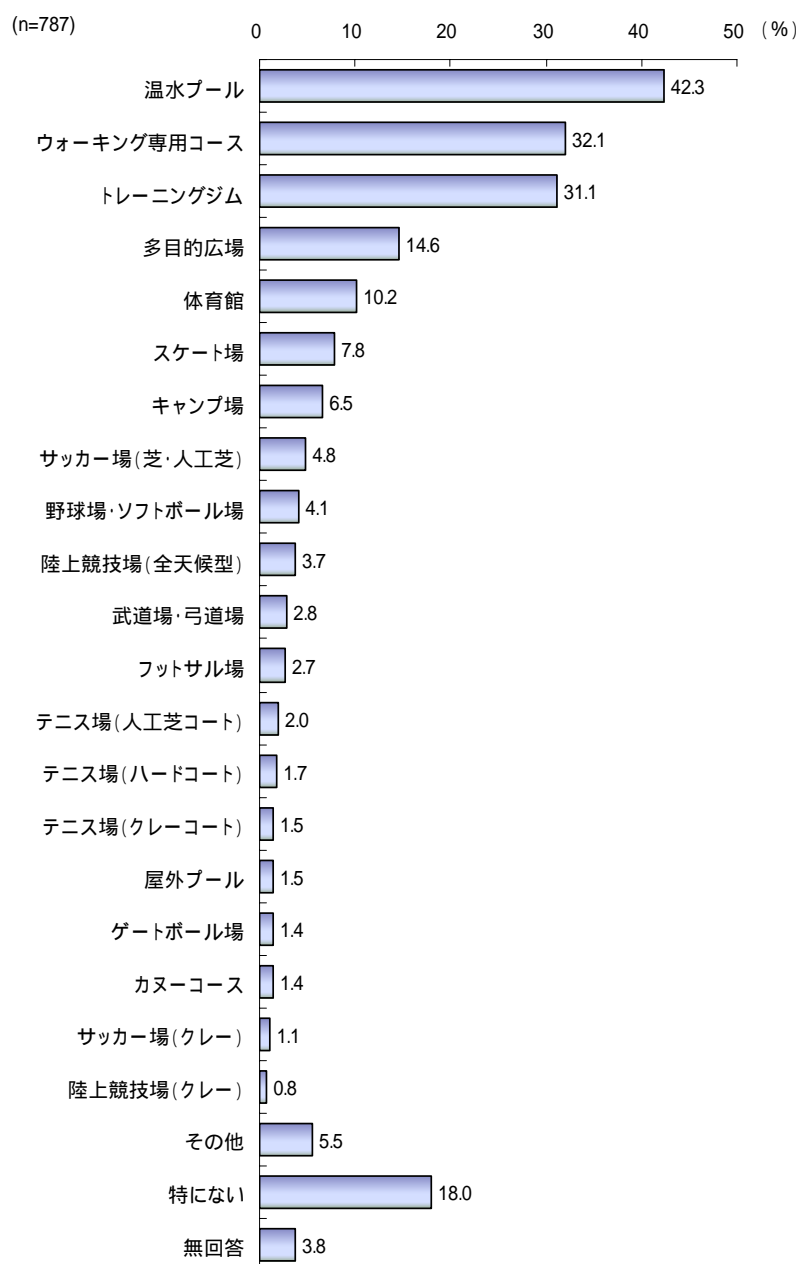
	満足している	まあ満足している	やや不満	まったく不満	どちらともいえない	わからない	無回答
今回	7.2	14.7	12.5	4.4	22.7	34.1	4.3
前回	6.1	17.8	14.7	7.6	21.4	32.4	0.0

### 2.3.5 設置して欲しいスポーツ施設 (問 33)

市民が設置して欲しいスポーツ施設は、「温水プール」が最も多く 42.3%となっています。以下、「ウォーキング専用コース」(32.1%)「トレーニングジム」(31.1%)が 30%強で続いています。

性年齢別にみると、「温水プール」は女性 20～39 歳で、「ウォーキング専用コース」は女性 40～64 歳で多くなっています。

居住地域別にみると、沢井地区、小木曽地区、成木地区では「温水プール」をあげる人が他の地区に比べ少なくなっています。



	合計	温水プール	ウォーキング専用コース	トレーニングジム	多目的広場	体育館	スケート場	キャンプ場	サッカー場(芝・人工芝)	野球場・ソフトボール場	陸上競技場(全天候型)	武道場・弓道場
<b>【全体】</b>	787	42.3	32.1	31.1	14.6	10.2	7.8	6.5	4.8	4.1	3.7	2.8
<b>【性年齢】</b>												
男性 20～39歳	66	47.0	12.1	43.9	18.2	7.6	7.6	9.1	10.6	7.6	9.1	3.0
男性 40～64歳	170	32.9	27.6	34.1	12.4	8.8	5.9	10.6	4.1	8.8	6.5	2.9
男性 65～80歳	108	34.3	38.9	23.1	17.6	11.1	3.7	0.9	3.7	5.6	4.6	2.8
女性 20～39歳	108	54.6	25.0	38.0	16.7	13.0	20.4	12.0	10.2	0.9	0.0	0.9
女性 40～64歳	192	51.0	43.2	38.0	12.5	9.4	8.3	6.3	3.6	1.0	3.1	4.2
女性 65～80歳	133	35.3	33.1	13.5	15.0	12.0	3.0	0.8	1.5	2.3	0.8	1.5
<b>【居住地域】</b>												
青梅地区	83	33.7	32.5	31.3	13.3	8.4	6.0	4.8	4.8	3.6	3.6	0.0
長淵地区	100	45.0	38.0	27.0	18.0	10.0	13.0	9.0	4.0	1.0	5.0	1.0
大門地区	119	50.4	25.2	33.6	12.6	10.1	6.7	8.4	7.6	1.7	3.4	4.2
梅郷地区	57	45.6	43.9	22.8	19.3	8.8	3.5	0.0	1.8	3.5	5.3	5.3
沢井地区	24	20.8	20.8	20.8	4.2	12.5	0.0	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2
小曾木地区	25	20.0	40.0	32.0	20.0	4.0	12.0	8.0	4.0	4.0	8.0	4.0
成木地区	14	21.4	28.6	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東青梅地区	95	44.2	28.4	29.5	16.8	13.7	7.4	4.2	4.2	8.4	3.2	3.2
新町地区	108	47.2	34.3	34.3	13.9	16.7	7.4	7.4	5.6	4.6	2.8	2.8
河辺地区	98	41.8	33.7	39.8	15.3	7.1	7.1	6.1	5.1	7.1	2.0	3.1
今井地区	58	46.6	27.6	32.8	13.8	3.4	13.8	10.3	6.9	3.4	6.9	3.4

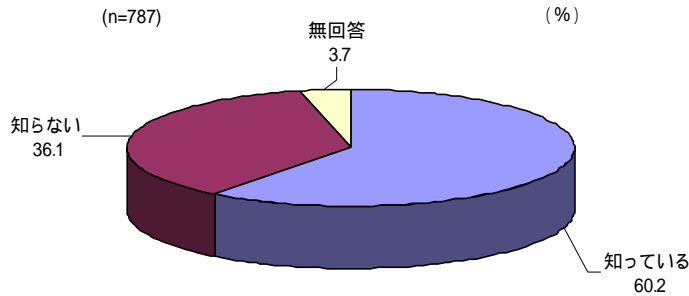
	合計	フットサル場	テニス場(人工芝コート)	テニス場(ハードコート)	テニス場(クレーコート)	屋外プール	ゲートボール場	カヌーコース	サッカー場(クレー)	陸上競技場(クレー)	その他	特になし	無回答
<b>【全体】</b>	787	2.7	2.0	1.7	1.5	1.5	1.4	1.4	1.1	0.8	5.5	18.0	3.8
<b>【性年齢】</b>													
男性 20～39歳	66	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	1.5	0.0	6.1	12.1	1.5
男性 40～64歳	170	3.5	2.9	1.2	0.6	1.2	0.0	4.1	1.8	1.2	7.1	16.5	2.9
男性 65～80歳	108	0.0	0.9	0.0	0.9	0.9	2.8	0.9	0.0	0.9	6.5	20.4	5.6
女性 20～39歳	108	4.6	5.6	4.6	2.8	3.7	0.0	0.0	1.9	0.9	7.4	12.0	0.9
女性 40～64歳	192	1.6	1.0	2.1	1.6	1.0	1.0	0.5	1.6	0.5	3.6	13.5	1.6
女性 65～80歳	133	0.8	0.0	0.0	1.5	0.8	3.8	0.0	0.0	0.8	3.8	33.1	8.3
<b>【居住地域】</b>													
青梅地区	83	3.6	2.4	1.2	1.2	2.4	1.2	2.4	1.2	0.0	8.4	24.1	4.8
長淵地区	100	2.0	1.0	3.0	2.0	3.0	4.0	3.0	0.0	0.0	8.0	14.0	2.0
大門地区	119	3.4	3.4	2.5	0.8	1.7	0.8	1.7	0.8	1.7	5.0	16.8	2.5
梅郷地区	57	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	1.8	1.8	3.5	3.5	14.0	1.8
沢井地区	24	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	33.3	12.5
小曾木地区	25	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
成木地区	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	7.1
東青梅地区	95	3.2	4.2	4.2	2.1	1.1	0.0	1.1	1.1	2.1	7.4	11.6	4.2
新町地区	108	1.9	0.9	0.0	0.9	0.0	2.8	1.9	3.7	0.0	4.6	17.6	0.9
河辺地区	98	5.1	1.0	1.0	2.0	3.1	0.0	0.0	1.0	0.0	2.0	20.4	4.1
今井地区	58	1.7	3.4	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	22.4	1.7

設置してほしいスポーツ施設の上位5施設について、前回調査と比較すると、「温水プール」をあげる人が減少しています。

	温水プール	ウォーキング専用コース	トレーニングジム	多目的広場	体育館
今回	42.3	32.1	31.1	14.6	10.2
前回	50.4	29.3	31.6	16.2	10.9

### 2.3.6 市主催の運動・スポーツ大会や教室の認知度（問34）

市が主催する運動・スポーツ大会や教室については、60.2%の人が「知っている」としています。性年齢別にみると、男女ともに20～39歳で「知らない」との回答が40%を超えやや多くなっています。



	合計	知っている	知らない	無回答
<b>【全体】</b>	787	60.2	36.1	3.7
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	66	53.0	45.5	1.5
男性 40～64歳	170	63.5	33.5	2.9
男性 65～80歳	108	58.3	36.1	5.6
女性 20～39歳	108	56.5	42.6	0.9
女性 40～64歳	192	67.2	30.7	2.1
女性 65～80歳	133	55.6	36.1	8.3

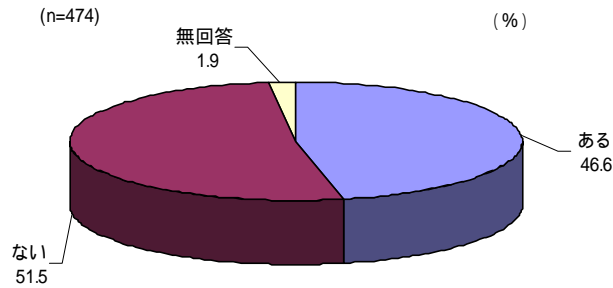
前回調査と比較すると、「知っている」とする人がやや増加しています。

	知っている	知らない	無回答
今回	60.2	36.1	3.7
前回	55.9	44.1	0.0

### 2.3.7 市主催の運動・スポーツ大会や教室の参加経験（付問 34-1）

市が主催する運動・スポーツ大会や教室を「知っている」と答えた 474 人中、参加したことが「ある」人は 46.6%と半数を切っています。

性年齢別にみると、女性 20～39 歳では「ない」とする人が 7 割と多くなっています。



	合計	ある	ない	無回答
【問34が1の方】	474	46.6	51.5	1.9
【性年齢】				
男性 20～39歳	35	48.6	51.4	0.0
男性 40～64歳	108	44.4	54.6	0.9
男性 65～80歳	63	47.6	47.6	4.8
女性 20～39歳	61	27.9	70.5	1.6
女性 40～64歳	129	57.4	42.6	0.0
女性 65～80歳	74	45.9	48.6	5.4

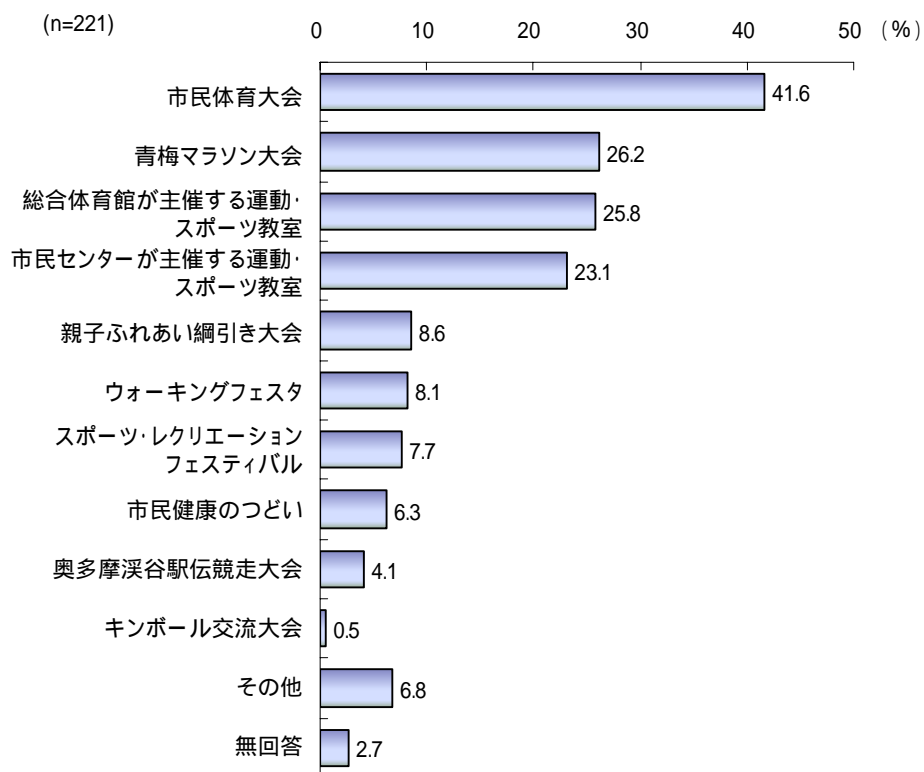
前回調査と比較すると、「ある」とする人がやや減少しています。

	ある	ない	無回答
今回	46.6	51.5	1.9
前回	51.0	48.0	1.0

### 2.3.8 参加した市主催の運動・スポーツ大会や教室（付問 34-2）

市が主催する運動・スポーツ大会や教室に「参加したことがある」221人の内、参加した行事の第1位は「市民体育大会」(41.6%)となっています。以下、「青梅マラソン大会」(26.2%)、「総合体育館が主催する運動・スポーツ教室」(25.8%)、「市民センターが主催する運動・スポーツ教室」(23.1%)が20%台で続いています。

性別にみると、「市民体育大会」と「青梅マラソン大会」は男性の参加が多くなっています。



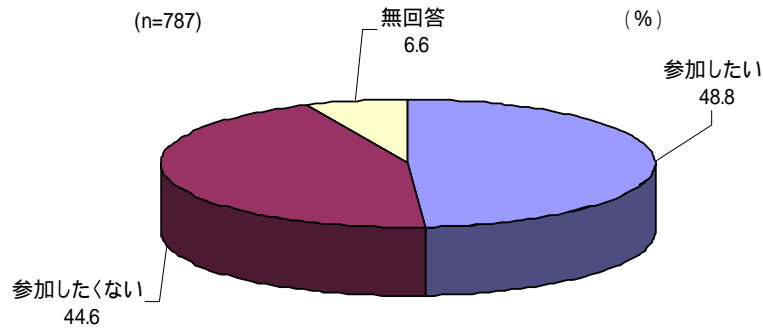
	合計	青梅マラソン大会	奥多摩溪谷駅伝競走大会	スポーツ・レクリエーションフェスティバル	市民体育大会	ウォーキングフェスタ	市民健康のつどい	キンボール交流大会	総合体育館が主催する運動・スポーツ教室	市民センターが主催する運動・スポーツ教室	親子ふれあい綱引き大会	その他	無回答
【問34が1の方で、かつ問34-1が1の方】	221	26.2	4.1	7.7	41.6	8.1	6.3	0.5	25.8	23.1	8.6	6.8	2.7
【性別】													
男性	96	41.7	8.3	7.3	53.1	8.3	5.2	1.0	15.6	13.5	10.4	6.3	2.1
女性	125	14.4	0.8	8.0	32.8	8.0	7.2	0.0	33.6	30.4	7.2	7.2	3.2



2.3.9 市主催の運動・スポーツ大会や教室への参加意向（付問 34-3）

今後、市が主催する運動・スポーツ大会や教室に「参加したい」とする人は 48.8%、「参加したくない」とする人は 44.6%となっており、二分されています。

性年齢別にみると、女性 65～80 歳は「参加したい」との回答が少なくなっています。



	合計	参加したい	参加したくない	無回答
<b>【全体】</b>	787	48.8	44.6	6.6
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	66	63.6	31.8	4.5
男性 40～64歳	170	51.8	44.1	4.1
男性 65～80歳	108	42.6	47.2	10.2
女性 20～39歳	108	50.0	48.1	1.9
女性 40～64歳	192	54.2	40.6	5.2
女性 65～80歳	133	36.1	51.9	12.0

市が主催する運動・スポーツ大会や教室への参加意向は、前回調査と変わりません。

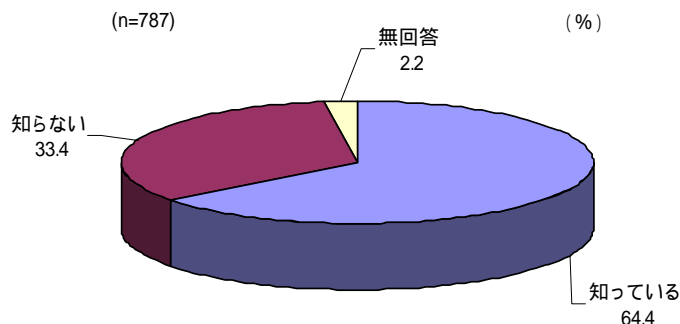
	参加したい	参加したくない	無回答
今回	48.8	44.6	6.6
前回	49.7	44.8	5.5

### 2.3.10 地域主催の運動・スポーツ大会の認知度 (問 35)

自治会など地域が主催する運動・スポーツ大会や教室については、64.4%の人が「知っている」としています。

性年齢別にみると、男女ともに20～39歳で「知らない」との回答が50%を超え多くなっています。

居住地域別にみると、新町地区、河辺地区で「知らない」とする回答が40%以上と多くなっています。



	合計	知っている	知らない	無回答
<b>【全体】</b>	<b>787</b>	<b>64.4</b>	<b>33.4</b>	<b>2.2</b>
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	66	40.9	57.6	1.5
男性 40～64歳	170	66.5	33.5	0.0
男性 65～80歳	108	79.6	17.6	2.8
女性 20～39歳	108	46.3	51.9	1.9
女性 40～64歳	192	70.8	27.6	1.6
女性 65～80歳	133	69.2	26.3	4.5
<b>【居住地域】</b>				
青梅地区	83	69.9	27.7	2.4
長淵地区	100	58.0	39.0	3.0
大門地区	119	64.7	33.6	1.7
梅郷地区	57	75.4	24.6	0.0
沢井地区	24	79.2	20.8	0.0
小曾木地区	25	76.0	16.0	8.0
成木地区	14	85.7	14.3	0.0
東青梅地区	95	73.7	22.1	4.2
新町地区	108	50.0	50.0	0.0
河辺地区	98	56.1	41.8	2.0
今井地区	58	67.2	31.0	1.7

前回調査と比較すると、「知っている」とする人がやや減少しています。

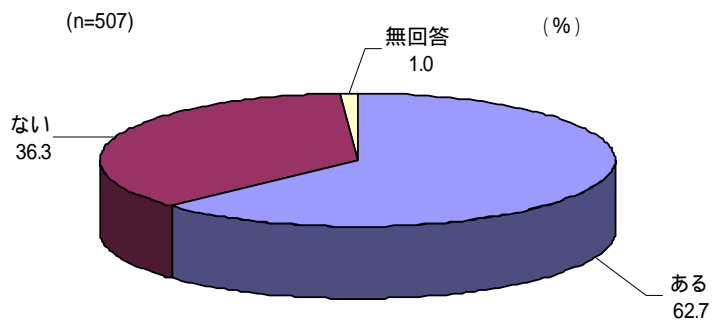
	知っている	知らない	無回答
今回	64.4	33.4	2.2
前回	69.5	30.5	0.0

### 2.3.11 地域主催の運動・スポーツ大会への参加経験 (付問 35-1)

地域が主催する運動・スポーツ大会や教室を「知っている」と答えた 507 人中、参加したことが「ある」人は 62.7%と過半数を超えています。

性年齢別にみると、男性 20～39 歳では「ない」とする人が 5 割近くと多くなっています。

居住地域別にみると、青梅地区、河辺地区で「ない」との回答が多くなっています。



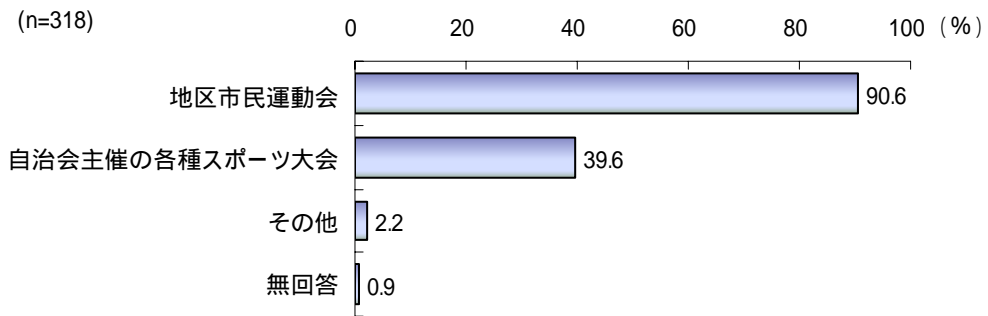
	合計	ある	ない	無回答
<b>【問35が1の方】</b>	<b>507</b>	<b>62.7</b>	<b>36.3</b>	<b>1.0</b>
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	27	51.9	48.1	0.0
男性 40～64歳	113	64.6	35.4	0.0
男性 65～80歳	86	62.8	36.0	1.2
女性 20～39歳	50	64.0	36.0	0.0
女性 40～64歳	136	64.7	33.8	1.5
女性 65～80歳	92	58.7	39.1	2.2
<b>【居住地域】</b>				
青梅地区	58	53.4	46.6	0.0
長淵地区	58	58.6	41.4	0.0
大門地区	77	55.8	42.9	1.3
梅郷地区	43	72.1	27.9	0.0
沢井地区	19	73.7	21.1	5.3
小曾木地区	19	73.7	26.3	0.0
成木地区	12	83.3	16.7	0.0
東青梅地区	70	68.6	30.0	1.4
新町地区	54	70.4	29.6	0.0
河辺地区	55	47.3	50.9	1.8
今井地区	39	69.2	30.8	0.0

地域が主催する運動・スポーツ大会や教室への参加意向は、前回調査と変わりません。

	ある	ない	無回答
今回	62.7	36.3	1.0
前回	62.8	36.2	1.0

### 2.3.12 参加した地域主催の運動・スポーツ大会（付問 35-2）

地域が主催する運動・スポーツ大会や教室に参加したことが「ある」とする 318 人の内、90.6% が「地区市民運動会」に参加しています。「自治会主催の各種スポーツ大会」の参加率は 39.6% となっています。

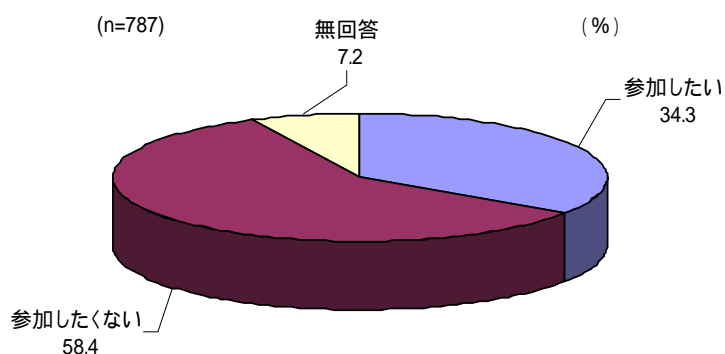


### 2.3.13 地域主催の運動・スポーツ大会への参加意向 (付問 35-3)

今後、自治会など地域が主催する運動・スポーツ大会に「参加したい」とする人は、34.3%にとどまっています。

性年齢別にみると、男性は4割前後の参加意向がみられるのに対し、女性の参加意向は3割前後と低くなっています。

居住地域別にみると、梅郷地区、小木曽地区、東青梅地区では参加意向が4割以上と高くなっています。



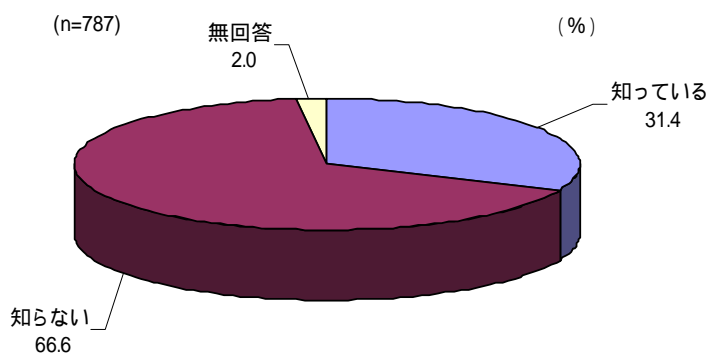
	合計	参加したい	参加したくない	無回答
<b>【全体】</b>	<b>787</b>	<b>34.3</b>	<b>58.4</b>	<b>7.2</b>
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	66	39.4	56.1	4.5
男性 40～64歳	170	41.8	53.5	4.7
男性 65～80歳	108	38.0	52.8	9.3
女性 20～39歳	108	27.8	67.6	4.6
女性 40～64歳	192	31.8	62.0	6.3
女性 65～80歳	133	29.3	57.9	12.8
<b>【居住地域】</b>				
青梅地区	83	33.7	56.6	9.6
長淵地区	100	32.0	60.0	8.0
大門地区	119	33.6	63.0	3.4
梅郷地区	57	47.4	43.9	8.8
沢井地区	24	33.3	58.3	8.3
小曾木地区	25	44.0	56.0	0.0
成木地区	14	28.6	64.3	7.1
東青梅地区	95	40.0	47.4	12.6
新町地区	108	30.6	67.6	1.9
河辺地区	98	30.6	63.3	6.1
今井地区	58	31.0	56.9	12.1

地域が主催する運動・スポーツ大会や教室への参加意向は、前回調査とほぼ変わりません。

	参加したい	参加したくない	無回答
今回	34.3	58.4	7.2
前回	36.8	58.3	4.9

### 2.3.14 スポーツ推進委員の認知度 (問 37)

スポーツについての助言や指導などを行うために、各地域から選出された「スポーツ推進委員（旧体育指導委員）」がいることを「知っている」とする人は31.4%にとどまっています。性年齢別にみると、男女とも20～39歳の人「知っている」との回答は1割前後と少なくなっています。居住地域別にみると、新町地区の認知度の低さが目立っています。



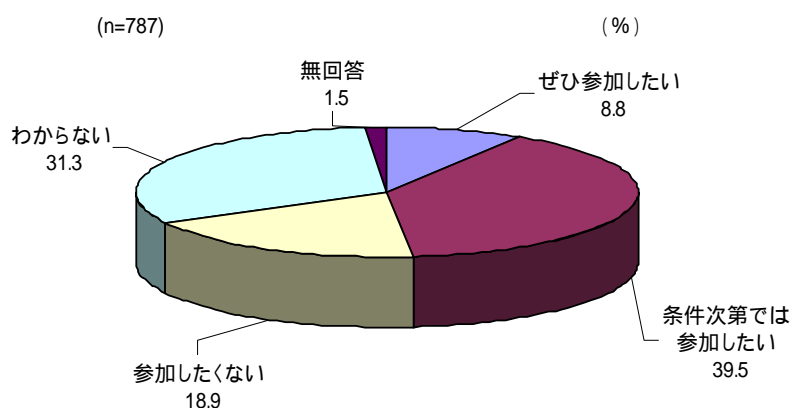
	合計	知っている	知らない	無回答
<b>【全体】</b>	787	31.4	66.6	2.0
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	66	7.6	90.9	1.5
男性 40～64歳	170	31.2	68.8	0.0
男性 65～80歳	108	42.6	55.6	1.9
女性 20～39歳	108	13.9	83.3	2.8
女性 40～64歳	192	38.5	60.4	1.0
女性 65～80歳	133	39.1	55.6	5.3
<b>【居住地域】</b>				
青梅地区	83	38.6	57.8	3.6
長淵地区	100	31.0	68.0	1.0
大門地区	119	28.6	69.7	1.7
梅郷地区	57	38.6	61.4	0.0
沢井地区	24	45.8	50.0	4.2
小曾木地区	25	32.0	68.0	0.0
成木地区	14	64.3	35.7	0.0
東青梅地区	95	33.7	63.2	3.2
新町地区	108	17.6	81.5	0.9
河辺地区	98	28.6	69.4	2.0
今井地区	58	34.5	63.8	1.7

### 2.3.15 総合型地域スポーツクラブへの参加意向（問38）

地域住民が、会費などを徴収するなどして自主的に運営し、年齢や運動経験の有無、障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できる多種目スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）が開設された場合、「ぜひ参加したい」とする人は8.8%と少ないが、「条件次第では参加したい」とする人は39.5%あり、この両者をあわせると参加意向をもっている人は48.3%となり、ほぼ半数を占めています。「参加したくない」とする人は18.9%にとどまっています。

性年齢別にみると、あまり大きな差はみられませんが、女性の20～39歳や65～80歳での参加意向がやや低くなっています。

居住地域別での参加意向には大きな差はみられません。



	合計	ぜひ参加したい	条件次第では参加したい	参加したくない	わからない	無回答
<b>【全体】</b>	787	8.8	39.5	18.9	31.3	1.5
<b>【性年齢】</b>						
男性 20～39歳	66	6.1	45.5	22.7	24.2	1.5
男性 40～64歳	170	9.4	40.6	17.6	31.8	0.6
男性 65～80歳	108	13.0	34.3	19.4	30.6	2.8
女性 20～39歳	108	5.6	37.0	21.3	34.3	1.9
女性 40～64歳	192	9.4	42.7	18.2	29.2	0.5
女性 65～80歳	133	7.5	37.6	18.0	34.6	2.3
<b>【居住地域】</b>						
青梅地区	83	4.8	42.2	24.1	26.5	2.4
長淵地区	100	12.0	43.0	15.0	29.0	1.0
大門地区	119	10.1	32.8	20.2	35.3	1.7
梅郷地区	57	10.5	43.9	10.5	33.3	1.8
沢井地区	24	12.5	37.5	29.2	20.8	0.0
小曾木地区	25	4.0	52.0	24.0	20.0	0.0
成木地区	14	21.4	21.4	28.6	28.6	0.0
東青梅地区	95	4.2	41.1	14.7	36.8	3.2
新町地区	108	9.3	40.7	21.3	28.7	0.0
河辺地区	98	12.2	39.8	14.3	32.7	1.0
今井地区	58	3.4	37.9	24.1	34.5	0.0

総合型地域スポーツクラブへの参加意向は、前回調査よりやや減少しています。

	ぜひ参加したい	条件次第では参加したい	参加したくない	わからない	無回答
今回	8.8	39.5	18.9	31.3	1.5
前回	11.6	43.6	14.8	30.0	0.0

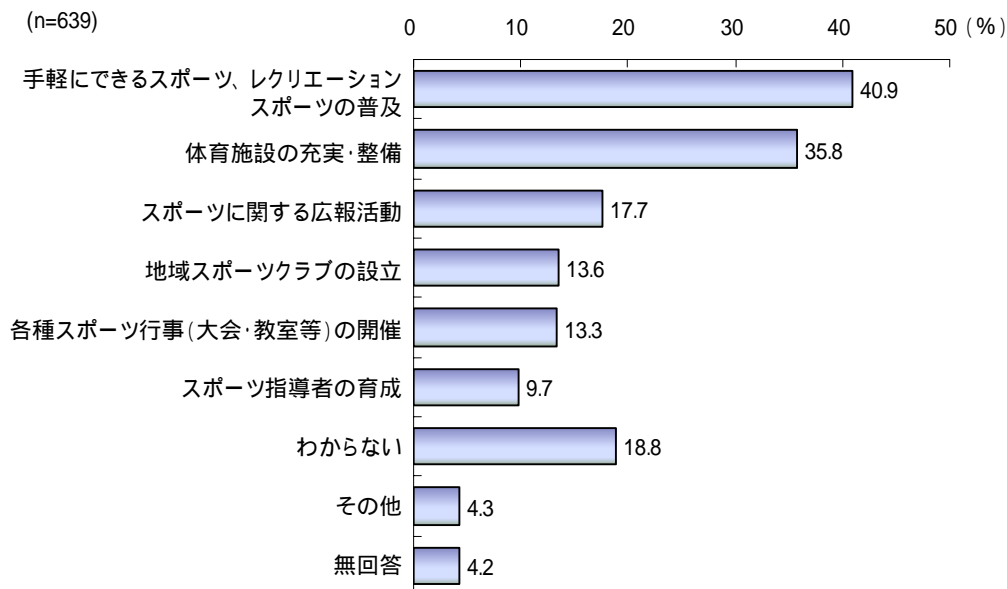


2.3.16 重要と思う市民スポーツ振興施策（問39）

市民のスポーツ振興を図る上で、市が力を入れるべき施策で最も多かったのは「手軽にできるスポーツ・レクリエーションスポーツの普及」(40.9%)でした。ついで「体育施設の充実・整備」(35.8%)が多くなっています。以下、「スポーツに関する広報活動」(17.7%)、「地域スポーツクラブの設立」(13.6%)、「各種スポーツ行事(大会・教室等)の開催」(13.3%)が10%台で続いています。

性年齢別にみると、「体育施設の充実・整備」は男女とも年齢が低くなるほど多くなっています。「各種スポーツ行事(大会・教室等)の開催」、「スポーツに関する広報活動」は男性20~39歳でやや多くなっています。「手軽にできるスポーツ・レクリエーションスポーツの普及」は男性65~80歳や女性40~64歳で5割近い要望となっています。

居住地区別にみると、「手軽にできるスポーツ・レクリエーションスポーツの普及」は小木曽地区でやや多くなっています。「地域スポーツクラブの設立」は新町地区にやや多い要望となっています。



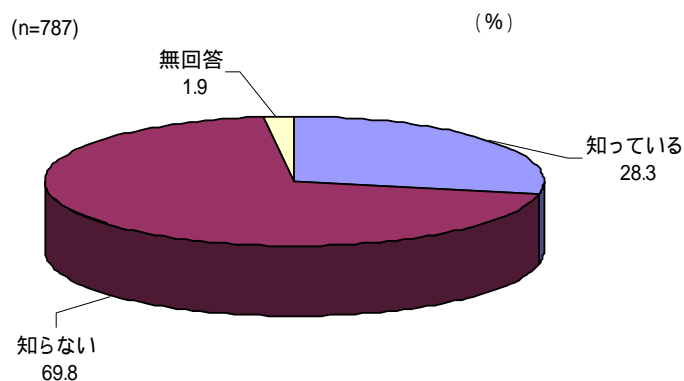
	合計	体育施設の充実・整備	各種スポーツ行事(大会・教室等)の開催	手軽にできるスポーツ、レクリエーションスポーツの普及	スポーツ指導者の育成	スポーツに関する広報活動	地域スポーツクラブの設立	わからない	その他	無回答
<b>【全体】</b>	787	35.8	13.3	40.9	9.7	17.7	13.6	18.8	4.3	4.2
<b>【性年齢】</b>										
男性 20～39歳	66	50.0	27.3	28.8	13.6	22.7	10.6	15.2	4.5	1.5
男性 40～64歳	170	40.0	15.9	34.7	10.0	19.4	15.9	18.8	4.1	0.6
男性 65～80歳	108	22.2	5.6	46.3	9.3	18.5	15.7	23.1	7.4	4.6
女性 20～39歳	108	42.6	14.8	36.1	3.7	19.4	14.8	16.7	7.4	1.9
女性 40～64歳	192	39.6	15.6	49.5	12.0	19.8	9.9	12.0	3.1	3.1
女性 65～80歳	133	25.6	5.3	42.1	9.0	9.0	15.8	27.8	1.5	12.0
<b>【居住地域】</b>										
青梅地区	83	42.2	19.3	41.0	19.3	20.5	10.8	13.3	2.4	6.0
長淵地区	100	33.0	9.0	45.0	6.0	17.0	15.0	20.0	3.0	3.0
大門地区	119	38.7	12.6	33.6	5.9	21.0	10.1	19.3	5.0	2.5
梅郷地区	57	42.1	3.5	36.8	14.0	17.5	12.3	21.1	3.5	3.5
沢井地区	24	33.3	4.2	29.2	8.3	16.7	12.5	25.0	4.2	8.3
小曾木地区	25	20.0	16.0	60.0	16.0	12.0	12.0	20.0	0.0	0.0
成木地区	14	7.1	14.3	42.9	14.3	14.3	28.6	42.9	7.1	0.0
東青梅地区	95	33.7	16.8	47.4	8.4	16.8	9.5	15.8	4.2	8.4
新町地区	108	34.3	15.7	40.7	11.1	15.7	23.1	16.7	5.6	1.9
河辺地区	98	38.8	19.4	38.8	7.1	20.4	9.2	16.3	6.1	5.1
今井地区	58	39.7	6.9	46.6	6.9	13.8	19.0	24.1	3.4	0.0

前回調査と比較すると、「地域スポーツクラブの設立」がやや減少しています。

	体育施設の充実・整備	各種スポーツ行事(大会・教室等)の開催	手軽にできるスポーツ、レクリエーションスポーツの普及	スポーツ指導者の育成	スポーツに関する広報活動	地域スポーツクラブの設立	わからない	その他	無回答
今回	35.8	13.3	40.9	9.7	17.7	13.6	18.8	4.3	4.2
前回	35.3	13.3	42.6	9.5	18.0	18.8	18.3	3.1	0.0

## 2.4 第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会開催 の認知度（問 41）

第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会が平成 25 年に東京都で開催され、青梅市では、正式競技として「カヌー競技」を、デモンストレーションとしてのスポーツ競技として「ビーチボール」が行われることを「知っている」とする人は 28.3%にとどまっています。性年齢別にみると、男性 40 歳以上では「知っている」との回答が 4 割近くと多くなっています。



	合計	知っている	知らない	無回答
<b>【全体】</b>	<b>787</b>	<b>28.3</b>	<b>69.8</b>	<b>1.9</b>
<b>【性年齢】</b>				
男性 20～39歳	66	15.2	80.3	4.5
男性 40～64歳	170	37.6	61.8	0.6
男性 65～80歳	108	38.9	59.3	1.9
女性 20～39歳	108	17.6	80.6	1.9
女性 40～64歳	192	24.5	74.5	1.0
女性 65～80歳	133	30.8	66.2	3.0

### 3. 調査結果からみた今後の課題

#### 課題1 スポーツ実施率(週1回以上)の向上

この1年間に「週1回以上」運動・スポーツを行ったことがある市民は、28.8%と3割を切っており、「まったくしていない」市民は34.9%と3人に1人強の割合と多くなっていて依然変化がありません。

一方、運動・スポーツが「好き」とする市民の割合は71.5%と多数を占めていますが、日ごろ運動不足を「感じている」とする人は82.3%にのぼっています。また、この1年間にあまり運動・スポーツを行っていない市民の理由をみると、「仕事(家事、育児含む)や勉強が忙しいから」をあげる人が最も多くなっていますが、「機会がないから」、「一緒にする仲間がないから」とする人も少なくありません。さらに、この人たちのスポーツ再開意向をみると68.5%が再開意向を持っており、潜在的なスポーツの実施意向はかなり高いものがあるといえます。

市民のスポーツ実施率の一層の向上を図るためには、市民の自主的・自立的なスポーツ活動、取り組むためのきっかけづくりや仕組みづくりが求められます。たとえば、気軽に参加できるニュースポーツ教室のように、いつでも・だれでも・たれとでもスポーツに参加できる機会が必要です。また、自ら進んで運動・スポーツを行うよう意識啓発を行っていくことや健康・体力増進や仲間づくりに役立つためのスポーツなど、多様なニーズに多彩に対応していくことが必要です。そのためには、スポーツ主管課にとどまらず、各部署の運動・連携を加速させる仕組みも大切となります。

#### 課題2 いつでも、どこでもスポーツできる環境づくり

市民がこの1年間に行ったスポーツとしては、「ウォーキング」(52.1%)が最も多く、以下、「体操・ストレッチ」(25.4%)、「登山・ハイキング」(19.7%)、「ジョギング・マラソン」(16.1%)、「自転車・サイクリング」(13.8%)、「ボウリング」(12.5%)があげられ、また、今後行いたいスポーツについても、「ウォーキング」(43.0%)をはじめ、「登山・ハイキング」(28.0%)、「体操・ストレッチ」(25.2%)、「水泳」(20.7%)が続いていますが、全体的には幅広いスポーツ活動に対するニーズがみられます。

スポーツを行う相手として「ひとりで」(28.2%)、「友人と」(21.4%)、「家族と」(16.0%)が上位にあげられています。

スポーツをする日としては、「特に決めていない」(48.5%)が半数近くを占めていますが、週末(土日)に行っている人がそれぞれ3割強、平日(月~金)に行っている人もそれぞれ1割前後みられます。また、スポーツをする時間帯は「午前」(38.8%)、「午後」(31.8%)、「夜間」(23.3%)など分散しています。スポーツをする場所としては、「公共スポーツ施設」(47.1%)、「公園・運動広場」(36.3%)、「民間のスポーツ施設」(27.1%)、「空き地・道路」(23.0%)が上位にあがっています。

このように市民がスポーツを行う相手や曜日、時間帯、場所は多様なものになっています。多様化する市民のスポーツに対する興味・関心の高まりに応え、市民の生活スタイル、生活リズムに応じた施設の利用方法と多様な参加機会が求められます。また、青梅の地域の特徴(山並みや多摩川等)をいかしたスポーツの提案も考えられます。青梅市民が生涯にわたって気軽に始められて、いつでも挑戦できて、どこでもスポーツを楽しむことができる機会の拡充を図っていく必要があります。

### 課題3 スポーツ情報提供方法の再検討

市営スポーツ施設を利用したことがない人は41.6%あり、その理由として「利用方法がわからないから」、「施設の場所がわからないから」をあげている人が少なくありません。

市が主催する運動・スポーツ大会や教室の認知度は60.2%、参加意向は48.8%、自治会など地域が主催する運動・スポーツ大会や教室の認知度は64.4%、参加意向は34.3%にとどまっています。さらに、重要と思うスポーツ振興策として「スポーツに関する広報活動」をあげる人は2割近くみられます。

市民のスポーツへの参加意欲を促進するためには、公共スポーツ施設に関することだけでなく、幅広いスポーツに関連する情報の提供方法を考えなければなりません。既存の広報紙やインターネットの活用はもちろん、より容易に情報が入手できるツールが必要です。スポーツ施設やスポーツ大会、イベントなど、幅広いスポーツ情報が入手できるようスポーツ情報提供方法のさらなる工夫が求められます。

### 課題4 体育施設の充実・整備

市民のスポーツ振興を図る上で、市が力を入れるべき施策として「体育施設の充実・整備」(35.8%)をあげる人が多くなっています。また、市民が設置して欲しいスポーツ施設としては、「温水プール」が最も多く42.3%となっています。以下、「ウォーキング専用コース」(32.1%)「トレーニングジム」(31.1%)が30%強で続いています。

一人でも多くの市民がスポーツに親しめる場所を確保するため、公共スポーツ施設や学校体育施設の効率的・効果的な活用が必要です。また、公共スポーツ施設のほかにスポーツに親しめる空間(山並みや多摩川等)を確保することが求められます

### 課題5 指導者の周知と育成

スポーツについての助言や指導などを行うために、各地域から選出された「スポーツ推進委員(旧体育指導委員)」がいることを「知っている」とする人は31.4%にとどまっています。このほか、運動クラブに参加している理由のひとつとして、「指導者がいるから」をあげる人も比較的多くみられることから、指導者の周知や育成に取り組んでいく必要があります。たとえば、人材バンクのような指導者登録制度を活用して、地域に埋もれている人材の発掘を推進していくこ

とも考えられます。スポーツ担当課だけにとどまらず、関係する部署との協働で地域やコミュニティに埋もれている人材を広く発信していく必要もあります。だれもが必要となる指導者を探せるような“マッチング”の仕組みづくりが求められています。

## 課題 6 青梅型地域スポーツクラブの設置

地域住民が、会費などを徴収するなどして自主的に運営し、年齢や運動経験の有無、障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できる地域スポーツクラブが開設された場合、「ぜひ参加したい」とする人は 8.8%と少ないが、「条件次第では参加したい」とする人は 39.5%あり、この両者をあわせると参加意向をもっている人は 48.3%となりほぼ半数を占めています。

では、どんな条件が必要なのでしょう。総合型地域スポーツクラブは、日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、文部科学省が実施するスポーツ振興施策の 1 つで、文部科学省のスポーツ振興基本計画では、「全国各市町村に少なくとも 1 つの総合型地域スポーツクラブをおく」としていますが、青梅には青梅の実情にあった“青梅型地域スポーツクラブ”と呼べるようなクラブづくりが必要です。青梅市では、各自治会・支会に根ざした体育振興会・体育部があることから、その組織を生かしたクラブづくりも考えられます。